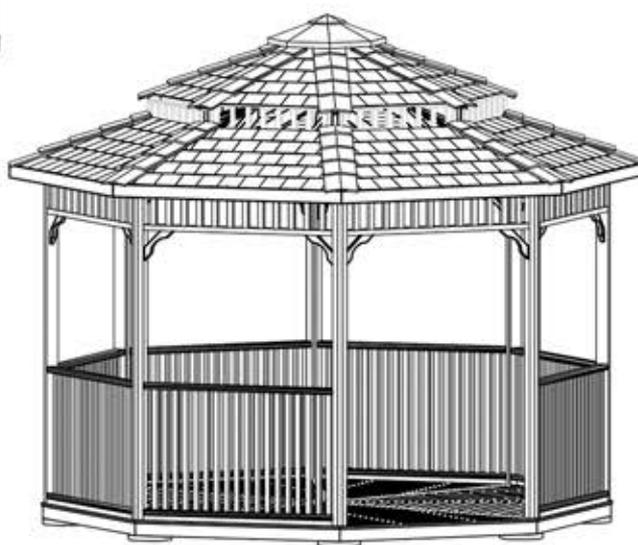




Hexagon

イラストはオプションの〈キューボラ〉仕様



Octagon

イラストはオプションの〈二段屋根 & キューボラ〉仕様

Panelized Gazebos

INSTRUCTIONAL MANUAL

ガゼボ 六角形、八角形 組立説明書

THE PANELIZED GAZEBO

◎おもな組み立て順序

1. 床の組み立て
2. 壁の組み立て
3. 屋根の組み立て
4. 仕上げ

◎用意するもの

- ・電動ドライバー(インパクト)
- ・金づち、釘抜き
- ・水平器
- ・6' (約1800mm)の脚立
- ・メジャー
- ・プラスのドライバー(またはビット)
- ・スコップ
- ・鉛筆
- ・のこぎり など

組み立てに使用する付属のネジ頭は、**スクエア(四角)**です。電動ドライバーの先端に付ける**スクエアビット(1/8インチ)**はキットに1ヶ含まれていますが、何人かで組み立てる場合はあらかじめ各自ご用意下さい。

組み立ては2人以上で行います。組み立てる前に組立説明書をよくお読み下さい。

お手入れの仕方

シダーシェッドシリーズは天然木材の持つ美しさ、耐久性の高いウエスタンレッドシダーを使用しております。適したお手入れをすることで何年でも美しいガーデンアクセントとしてお楽しみ頂けます。

自然の無塗装のウエスタンレッドシダーは時を経て風雨にさらされると美しいシルバーグレーの色合いに変色します。いつまでもウエスタンレッドシダーの自然色をお望みの場合は組み立て後に、良質のステイン塗装が必要です。

木材にカラーチョークやクレヨンの描き込みがある場合は湿った布や紙ヤスリで軽くこすれば消えます。

シダーシェッドは環境にやさしい紙類で梱包し、ステーブル(ホッチキスの針)で留めております。梱包を開けるときにすべてのステーブルの取り外しにペンチを用意して下さい。

注意:

シダーシェッドの組み立てに電動工具またはハシゴが必要な場合があります。注意して使用して下さい。

不適切な組み立て、手入れ、修理の不手際により生じた製品の責任は負いかねますので、ご了承下さい。

必要許可の取得は購入者の責任において行って下さい。

Use of Outdoor Rated Wood Adhesive

接着剤を使って構造的に強化する

シダーシェッド製品に構造的な強化を付加する方法として、パネルの接合部分に良質の屋外用木材向け接着剤を使用することができます。使用箇所としては、下記のような部位が挙げられます。

ガーデンシェッド

床パネル同士の接合部
壁パネル同士の接合部
床パネルと壁パネルの接合部
壁パネルとヘッダー(上枠)の接合部
壁パネルとトッププレートとの接合部
トッププレートと切妻パネルの接合部
切妻パネルと屋根パネルの接合部
トッププレートと屋根パネルの接合部
屋根垂木とガセットの接合部

ガゼボ

床根太同士の接合部
床根太とデッキパネルの接合部
左ポスト右ポストの接合部
デッキパネルと壁パネルの接合部
手摺りと手摺り格子の接合部
ポストと手摺りの接合部
ポストとヘッダー(上枠)の接合部
ヘッダー(上枠)と屋根垂木の接合部
屋根垂木同士の接合部
屋根垂木と屋根パネルの接合部

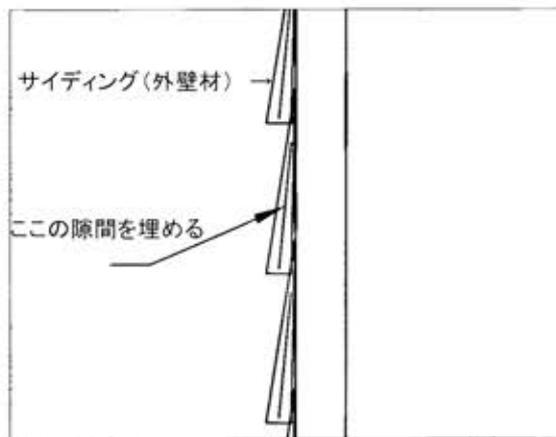
後にシダーシェッド製品を解体して移動させる等の計画をお持ちならば、接着剤の使用はしないことを勧めます。

Use of Outdoor Rated Latex Caulking

コーキング材を使って雨の滲入を防ぐ

大雨の時など、雨水が染み出ることがあるかもしれません。これの防止策としては、ホームセンターなどで手に入る良質のアクリル系ラテックス・コーキング材を使用することができます。

使用箇所は、壁パネルのサイディングの端です。コーナー&トリムボードを取り付ける前に行ってください。具体的に付ける箇所は、下記の図を参照願います。

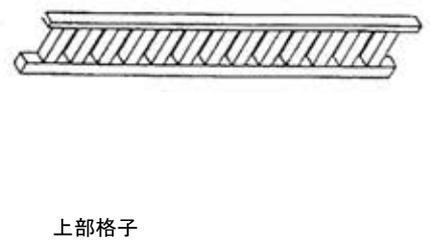
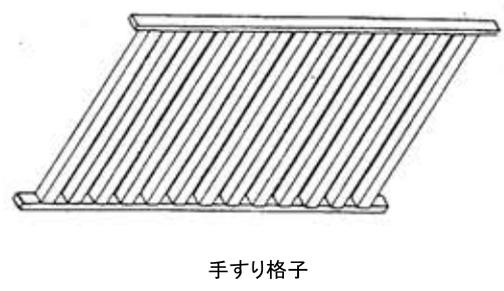
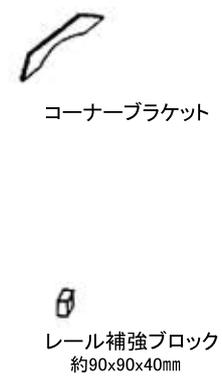
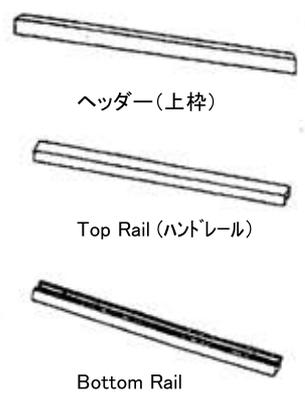
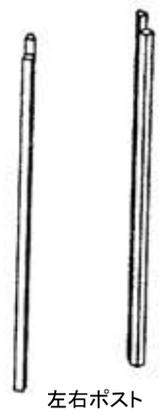
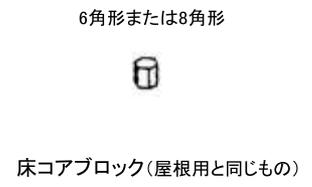
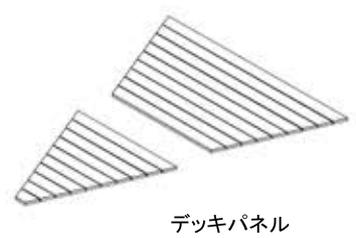
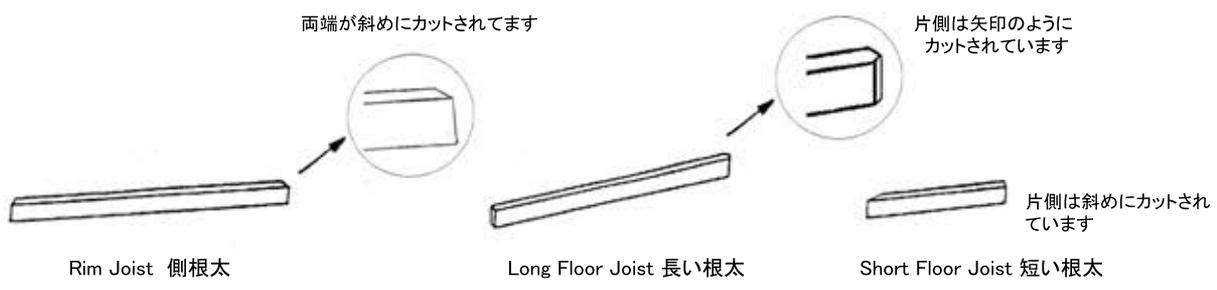


EDGE OF WALL PANELS

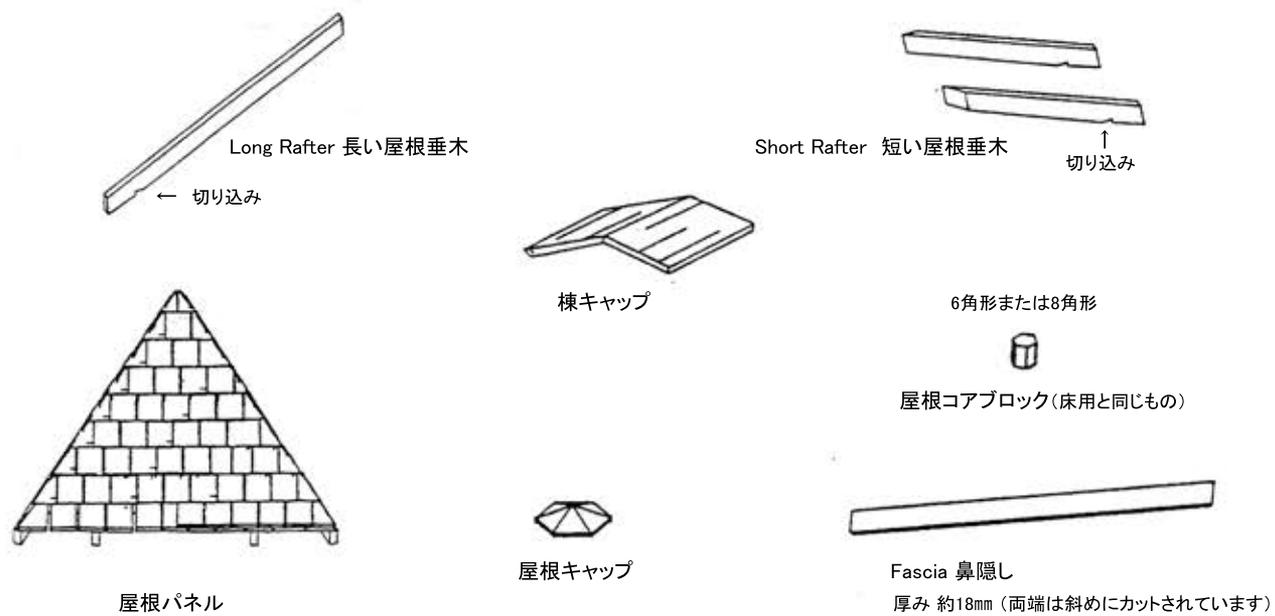
PARTS LIST:

Part Name		6角形		8角形	
		Hexgon 8'	Hexgon 10'	Octagon 12'	Octagon 14'
Rim Joist	側根太	6	6	8	8
Long Floor Joist	長い 床根太	6	6	8	8
Short Floor Joist	短い 床根太	12	12	16	16
Pre-assembled deck Panels	デッキパネル	12	12	16	16
Centre Deck Piece	センターデッキピース	1	1	1	1
Floor Core Block	床コアブロック	1	1	1	1
Wall Posts (left/right)	ポスト(左右)	12	12	16	16
Vertical Post fillets strip	ポスト化粧材	6	6	8	8
Top Rails	トップレール(ハンドレール)	5	5	7	7
Bottom Rails	ボトムレール	5	5	7	7
Support Blocks	レール補強ブロック	5	5	7	7
Corner Brackets	コーナーブラケット	12	12	16	16
Upper Baluster Section	上部格子	6	6	8	8
Lower Baluster Section	手すり格子	5	5	7	7
Headers	ヘッダー(上枠)	6	6	8	8
Long Rafter	長い 屋根垂木	6	6	8	8
Short Rafter	短い 屋根垂木	12	12	16	16
Roof Panels	屋根パネル	6	6	8	8
Ridge Caps	棟キャップ	3 Bundles	3-1/2 Bundles	5 Bundles	6 Bundles
Roof Core Block	屋根コアブロック	1	1	1	1
Fascia	鼻隠し	6	6	8	8
Gazebo Cap	屋根キャップ	1	1	1	1
TWO TIER OPTION (オプション) 二段屋根					
Two Tier Core Block	二段屋根用 屋根コアブロック	1	1	1	1
Pre-Assembled Two Tier Rafters Sections	二段屋根用 屋根垂木	6	6	8	8
Two Tier Face Rail Baluster Sets Sections	二段屋根用 レール柱セクション	6	6	8	8
Pre-Assembled Small Roof Panels (Two Tier option only)	二段屋根用 屋根パネル	6 Upper	6 Upper	8 Upper	8 Upper
		6 Lower	6 Lower	8 Lower	8 Lower
CUPOLA (オプション) キューポラ 屋根					
Small Cupola Cap	キューポラ キャップ(小)	1	1	1	1
Big Cupola Cap	キューポラ キャップ(大)	1	1	1	1
Cupola Side Panels	キューポラ サイドパネル	6	6	8	8
BENCH (オプション) ベンチ					
Bench Seat	ベンチ座面シート	-	-	-	-
Bench Legs	ベンチ脚	-	-	-	-
3" Screws	76mm ネジ				
2" Screws	50mm ネジ				
2" Box Nail for Ridge Caps	50mm 釘 棟キャップ用				
1 3/4" Finishing Nails	45mm 仕上げ釘				
1" Nails	25mm 釘				

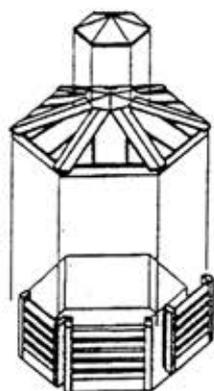
パーツ 一覧 ①



パーツ 一覧 ②

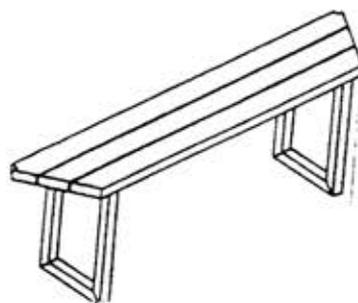


◆オプション



〈キューポラ オプション〉

- ・キャップ
- ・サイドパネル



〈ベンチ オプション〉

- ・ベンチシート
- ・ベンチ脚

PANELIZED HEXAGON GAZEBO SPECIFICATIONS

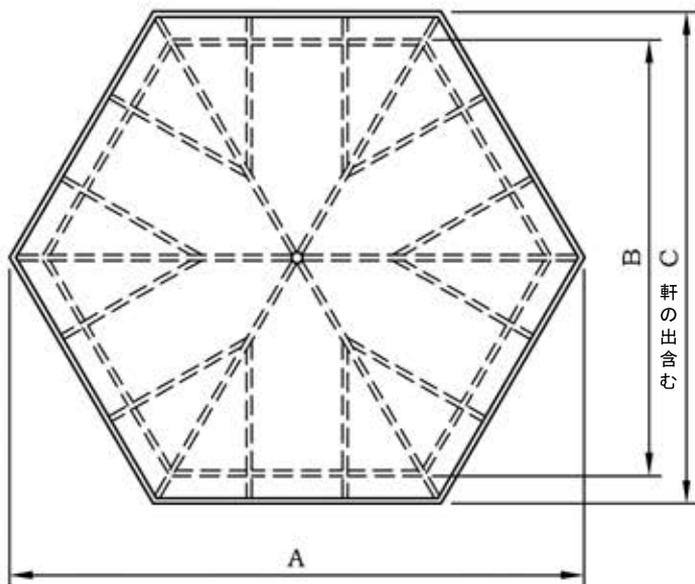
All Gazebos are constructed of 100% Western Red Cedar.

All framing components are nominal 2"x4" in size.

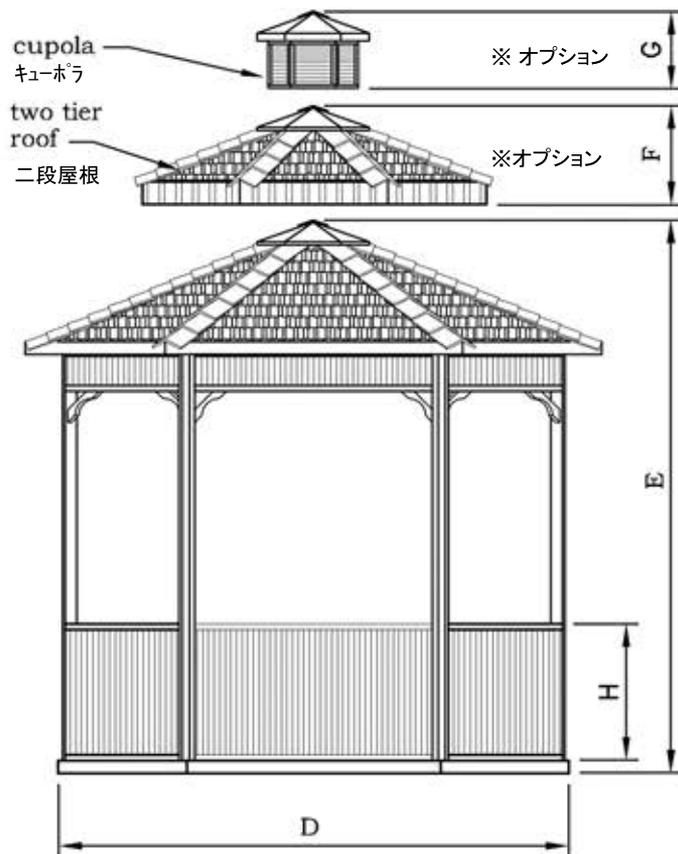
Wall posts consist of 2 - 2"x4" fastened together.

床根太、構造材:2x4材(40x90mm)使用

六角形ガゼボ 8feet&10feetサイズ



PLAN VIEW



SIDE VIEW

Measurements For Hexagon Gazebo		
Dimensions (Imperial)		
Size	8'	10'
Area	85 Sq. Ft.	106 Sq. Ft.
A	11'-4" 約 3454mm	12'-10" 約 3912mm
B	8'-0" 約 2438mm	9'-10" 約 2997mm
C	9'-8" 約 2946mm	11'-1" 約 3378mm
D	9'-3" 約 2819mm	11'-4" 約 3454mm
E	9'-10" 約 2997mm	10'-4" 約 3150mm
F	1'-0" 約 305mm	1'-0" 約 305mm
G	1'-0" 約 305mm	1'-0" 約 305mm
H	3'-1" 約 940mm	3'-1" 約 940mm
Door	4'-2"x6'-1" 約 1270x1854mm	5'-2 1/2"x6'-1" 約 1580x1854mm
Weight	1300 lbs 約 590kg	1700 lbs 約 771kg
Pre-cut Package Size	48"Wx87"Lx30"H	48"Wx88"Lx33"H
Panelized Package Size	72"Wx87"Lx33"H 約 1829x2200x838mm	72"Wx87"Lx36"H 約 1829x2200x914mm

1'(フィート) 約 3048mm

1"(インチ) 約 25.4mm

Note - Two tier roof and Cupola are optional

PANELIZED OCTAGON GAZEBO SPECIFICATIONS

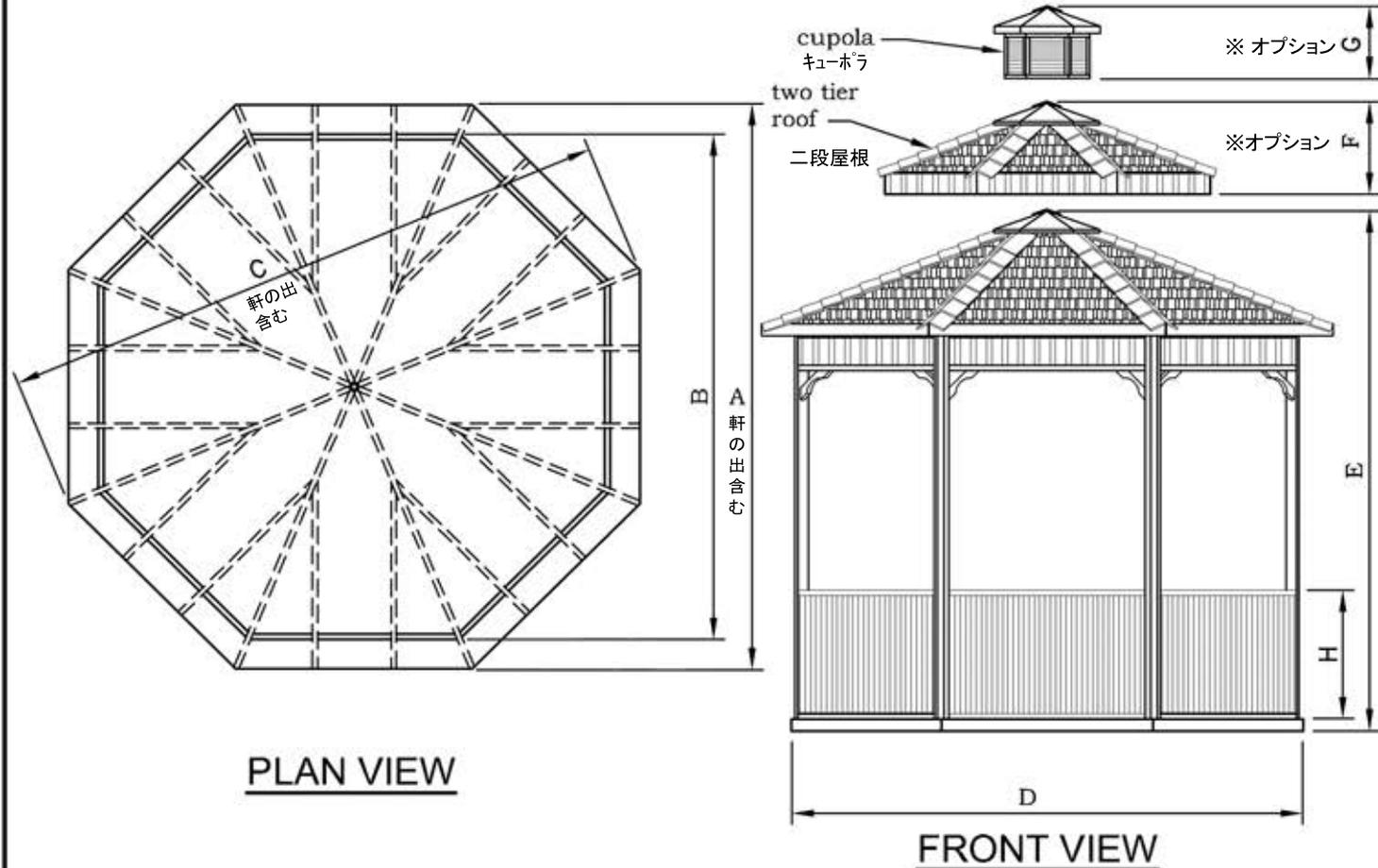
All Gazebos are constructed of 100% Western Red Cedar.

All framing components are nominal 2"x4" in size.

Wall posts consist of 2 - 2"x4" fastened together.

床根太、構造材:2x4材(40x90mm)使用

八角形ガゼボ 12feet & 14feetサイズ



PLAN VIEW

FRONT VIEW

Measurements For Octagon Gazebo		
Dimensions (Imperial)		
Size	12'	14'
Inside Area	120 Sq. Ft.	154 Sq. Ft.
A	13'-6" 約 4115mm	15'-7" 約 4750mm
B	12'-1" 約 3683mm	14'-0" 約 4267mm
C	15'-0" 約 4572mm	16'-10" 約 5131mm
D	13'-0" 約 3962mm	15'-1" 約 4597mm
E	10'-8" 約 3251mm	9'-10" 約 2997mm
F	1'-0" 約 305mm	1'-0" 約 305mm
G	1'-0" 約 305mm	1'-0" 約 305mm
H	3'-1" 約 940mm	3'-1" 約 940mm
Door	4'-7"x6'-1" 約 1397×1854mm	5'-4"x6'-1" 約 1626×1854mm
Weight	2200 lbs 約 997kg	2400 lbs 約 1088kg
Pre-cut Package Size	48"Wx88"Lx45"H	48"Wx105"Lx45"H
Panelized Package Size	72"Wx87"Lx50"H 約 1829×2200×1270mm	87"Wx105"Lx45"H 約 2200×2667×1143mm

1'(フィート) 約 3048mm

1"(インチ) 約 25.4mm

Note - Two tier roof and Cupola are optional

床の組み立て

ガゼボは、水平な地面の上に組み立てることが大切です。組み立ては最終設置場所で行ってください。設置場所の水平を確認することは非常に重要です。この段階で水平を確実にしておかないと、のちに壁や屋根の水平を調整することは非常に困難になります。

床を組み立てていきます。

まず外枠となる、側根太を取り出し下図のように並べます。側根太は両端が斜めにカットされています。

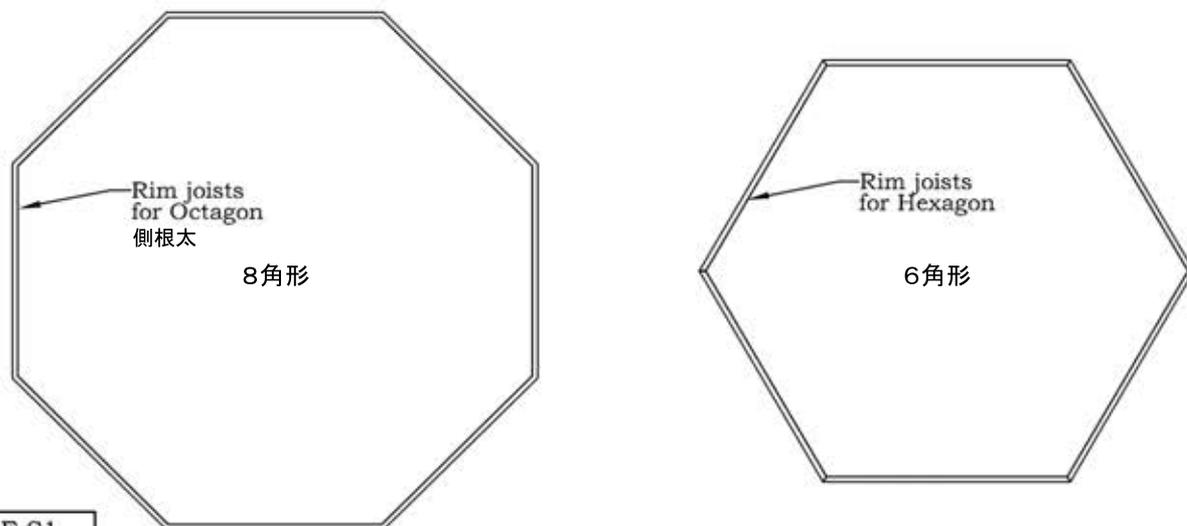


FIGURE S1

長い根太を側根太の中に並べ、その中心に床コアブロックを置きます。長い根太の片側は矢印のようにカットされているのでそちら側を側根太の接合部に合わせます。そして3インチ(76mm)ネジを3本使って、長い根太と側根太をそれぞれ接合し、床コアブロックと長い根太もネジ留めします。 図S2参照

※床コアブロックは、6角または8角形のブロックで、屋根コアブロックと同じ形をしています。

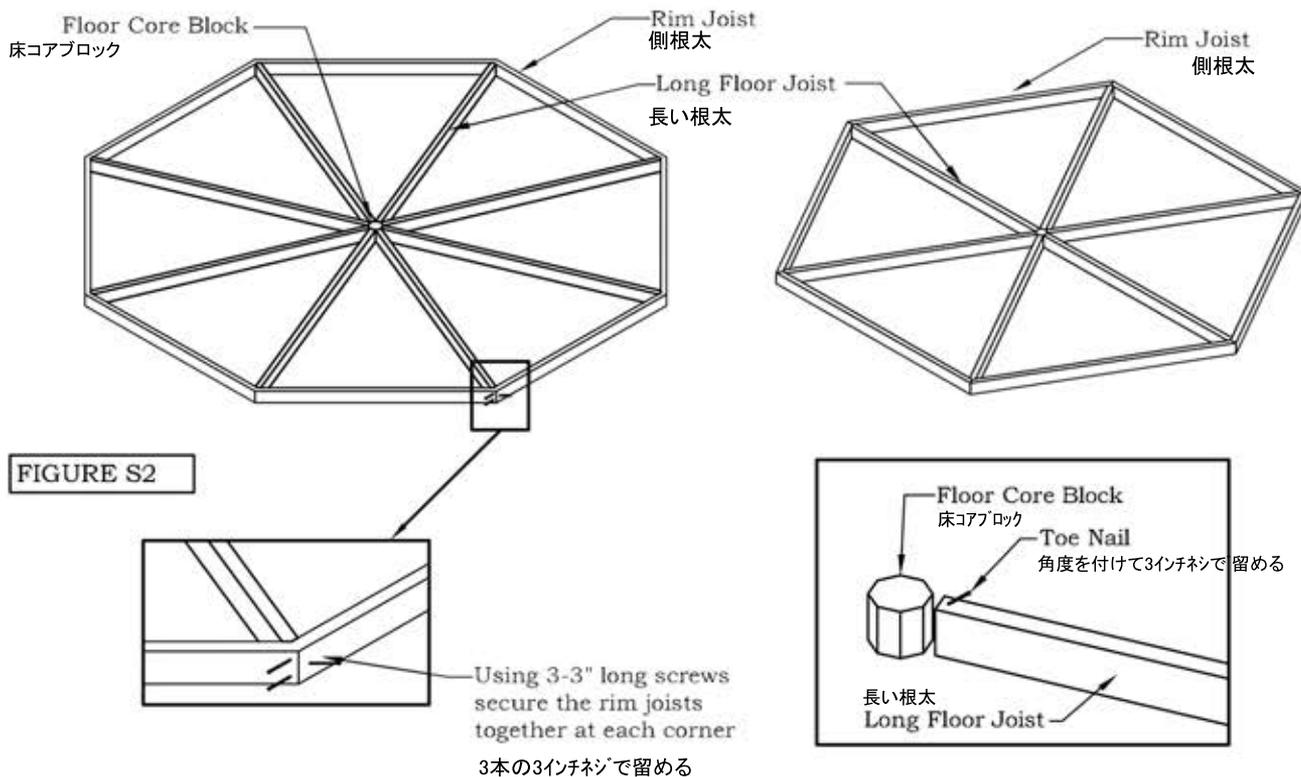


FIGURE S2

短い根太も取り付けます。

斜めにカットされている側は長い根太に、平らにカットされている側は外枠に、それぞれ3インチ(76mm)ネジを使って留めます。

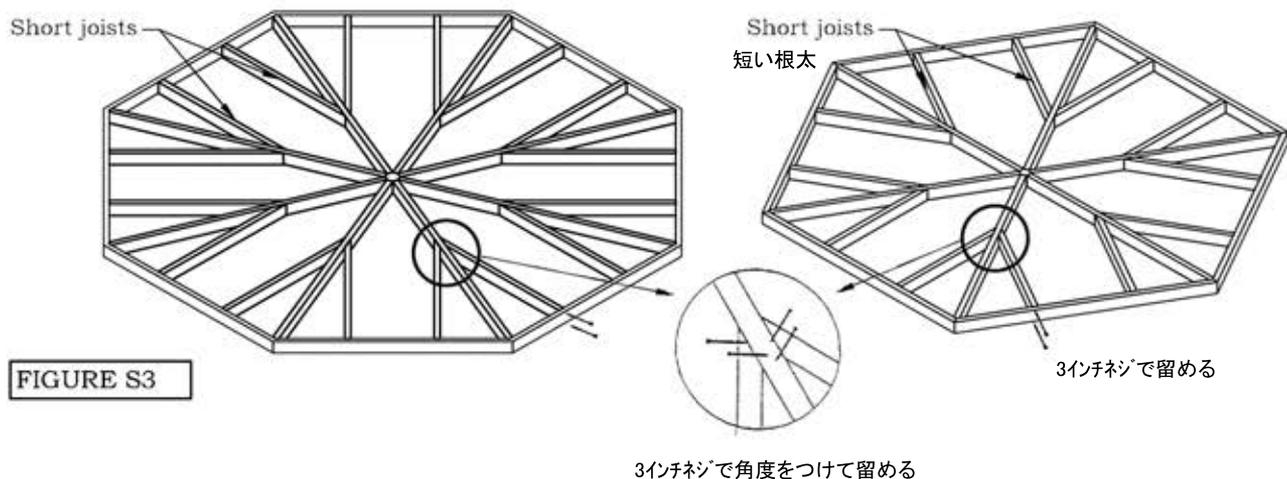


FIGURE S3

床を水平する

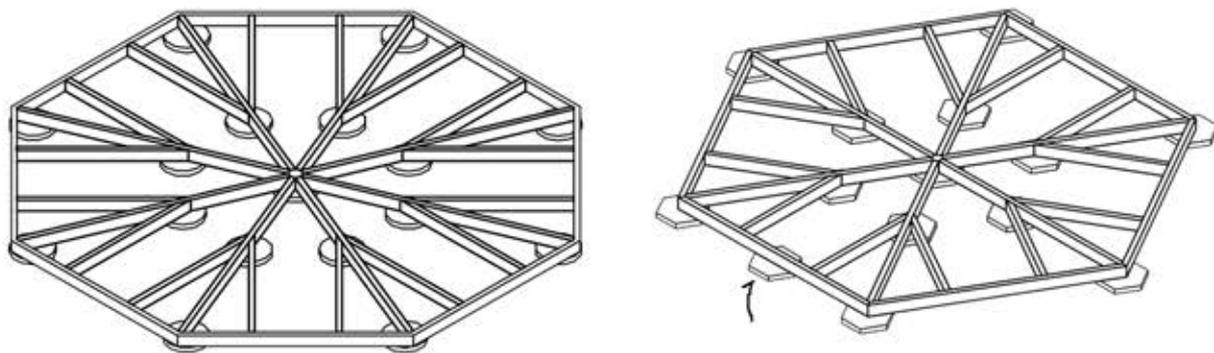
これでコンクリートブロックを敷く準備が出来ました。

ブロックは、厚み50mmほどものを用意し、根太同士の接合部や床コアブロック下へ置かれるように配置します。6角形なら14個(6角形の場合は出入り口にも)、8角形なら17個置きます。図S4参照

基礎ブロックの上に組み上がった床根太を置きます。水平器を使ってあらゆる箇所を確認し、必要であればブロックと根太の間に詰め木などを挟んだり、地面の土を取り除いたりして高さを調整します。先に外側に配置されているブロックを水平にし、それに合わせて内側のブロックを調整していくと良いでしょう。

※イラストのブロックは多角形ですが、厚50mm×200～300mmの四角い平板など、ご用意できるもので結構です。

※ブロックが外枠からあまりはみ出ないようにします。



※6角形の場合は出入り口にも置きます。

FIGURE S4

デッキパネルを取り付けます。

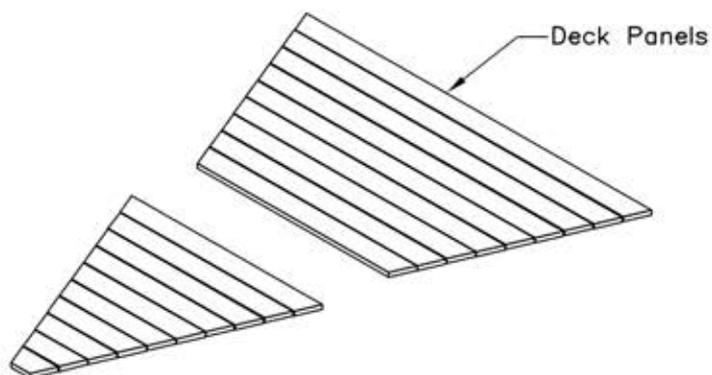


FIGURE S5

大小のデッキパネルを根太の上に並べます。3インチ(76mm)ネジを使ってデッキの両端にそれぞれ1本ずつ根太に対して留め、すべてのデッキパネルを取り付けます。

- ※ はじめにすべてのデッキパネルを並べ、バランスを見ながらネジ留めすると良いでしょう。
- ※ ネジは必ず根太に対して留まるようにしてください。

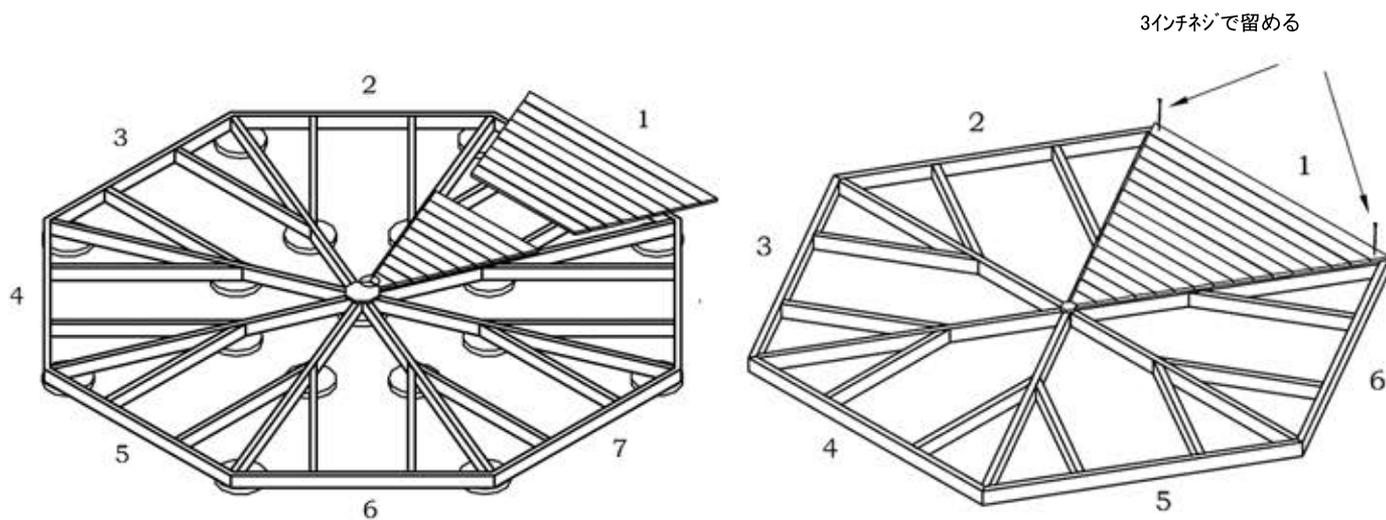


FIGURE S6

8角形

6角形

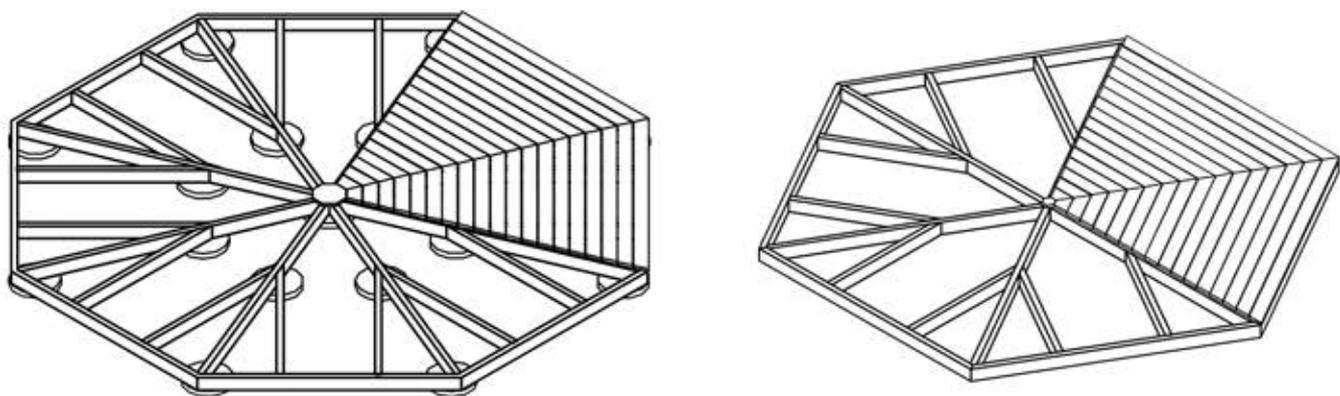


FIGURE S7

最後にセンターデッキピースを取り付けます。六角形または八角形のセンターデッキピースを取り出し、中心部に置きます。位置を整えたら3本の3インチ(76mm)ネジを使って根太に対して留めます。

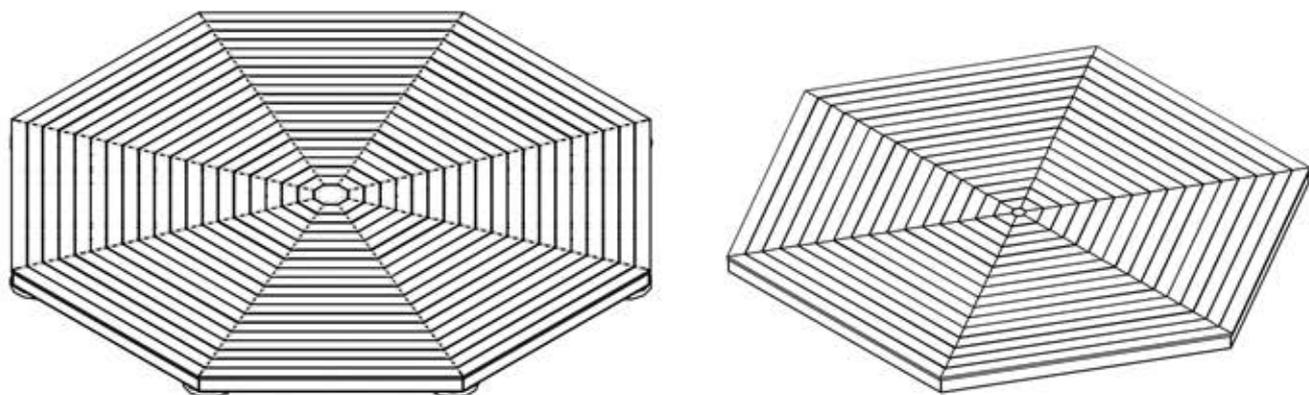


FIGURE S8

8角形

6角形

床の完成

壁の組み立て

イラストは完成した壁セクションです。壁の組み立ては、「ポストと手すり格子の組み立て」とその組み上がった壁パネルを「デッキに固定する」作業の2行程に分けることができます。

● 8角形ガゼボ

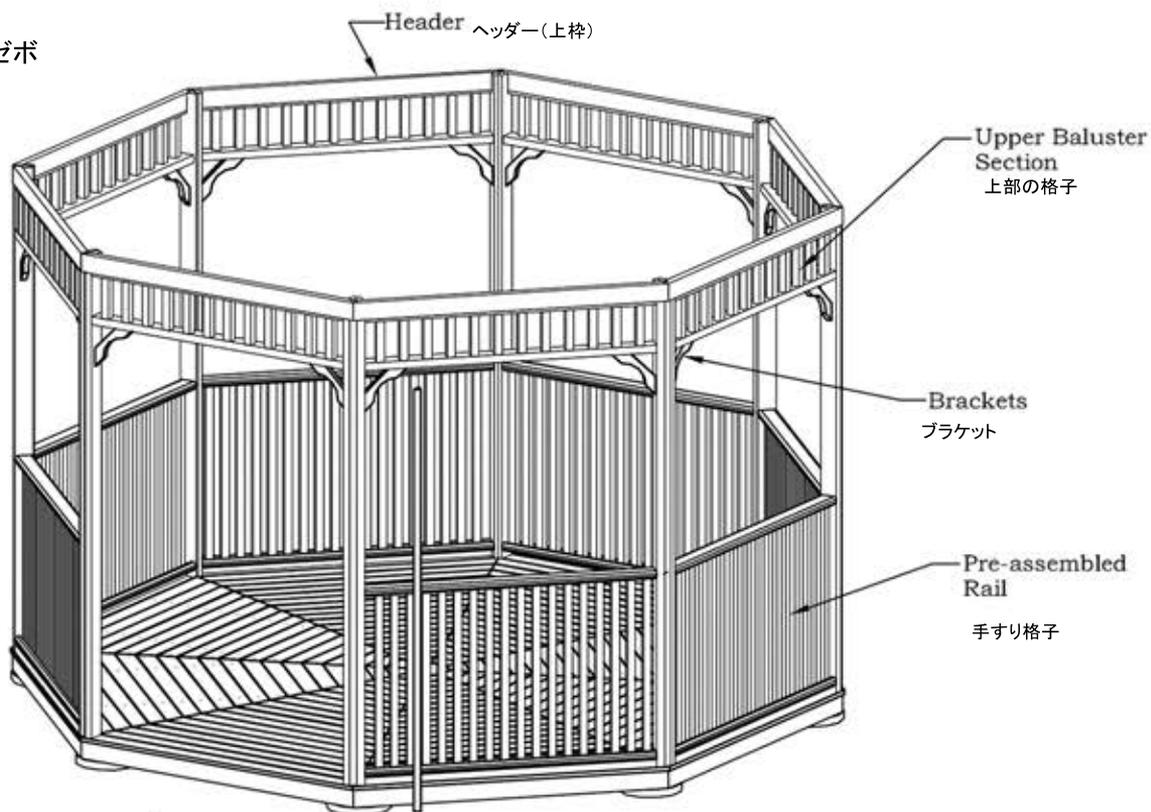


FIGURE S9

● 6角形ガゼボ

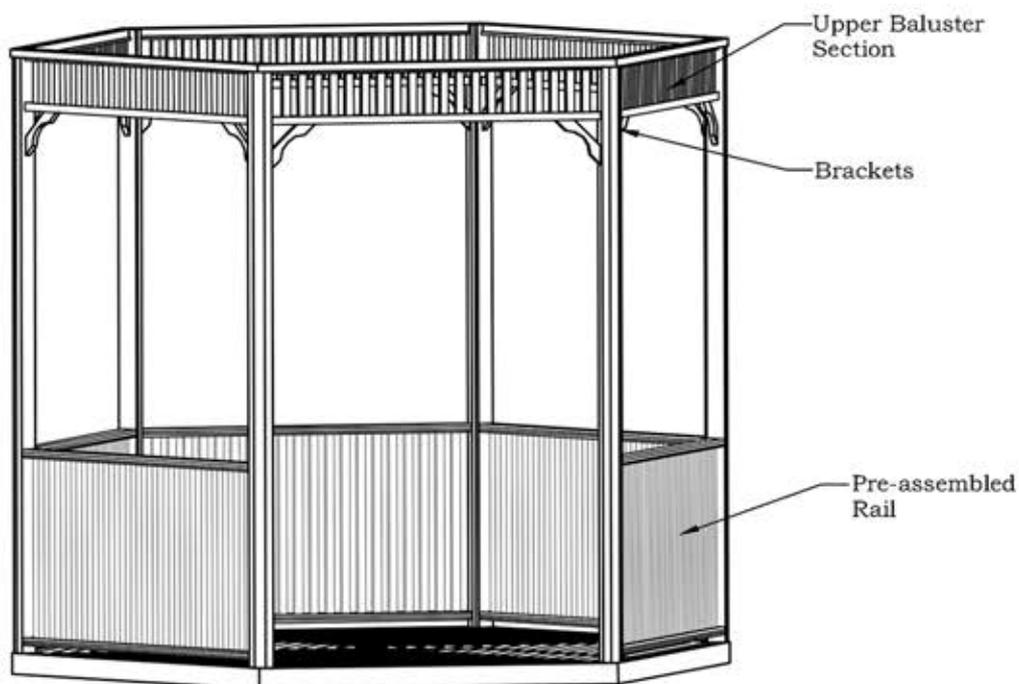


FIGURE S9A

ポストと手すり格子の組み立て

ポストに手すり格子を取り付け、壁パネルを作っていきます。六角形なら5つ、八角形なら7つ作ります。

- ・まずポストを取り出し、平らな面と角度がついている面に気を付けて、六角形なら左右6本ずつ、八角形なら左右8本ずつあることを確認します。図S10参照
そして、その中でいちばん見栄えが良いポストを左右1本ずつ選び、よけておいてください。
この見栄えの良い左右ポストの1組は、出入口用になります。
- ・左右ポストの下部に手すり格子を取り付けるための印を付けます。
レール補強ブロックを取り出し、それをテンプレートとして左右ポストの平らな面(手すりを取り付けられる面)に印を付けます。図S11参照

上から見たポスト

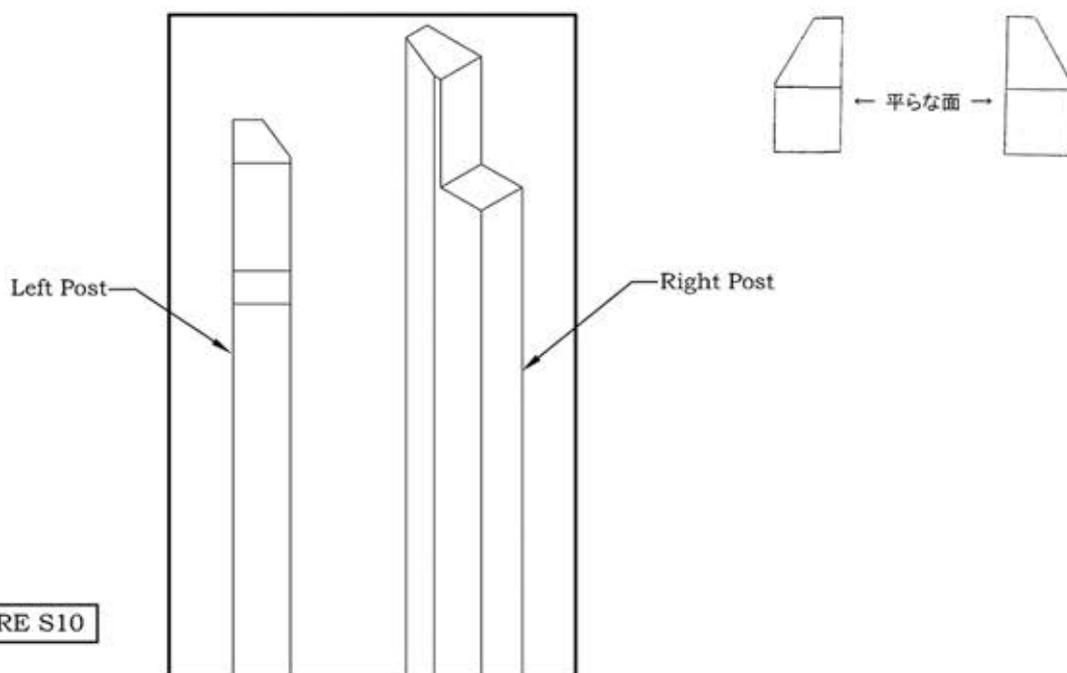


FIGURE S10

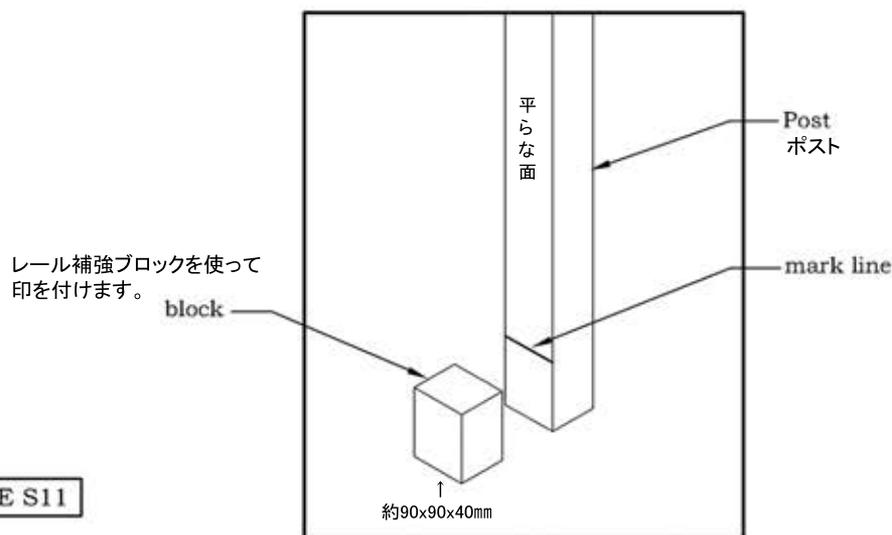


FIGURE S11

- ① 手すり格子にハンドレールとボトムレールを取り付けます。
 ハンドレールは、1インチ(約25mm)の釘を使って手すり格子のfillets(薄い板)から上に向かって打ち付けます。
 ボトムレールは、3インチ(約76mm)ネジを使って底部から約40mm角の柱に向かって留めてください。 図S12参照
- ② ポストに手すり格子を取り付けます。
 前ページで付けた印にボトムレールの下端を合わせたら、2本の3インチ(76mm)ネジを使ってポストからボトムレールとハンドレールに対して留めます。 同様に残りの壁パネルも完成させます。 図S13参照

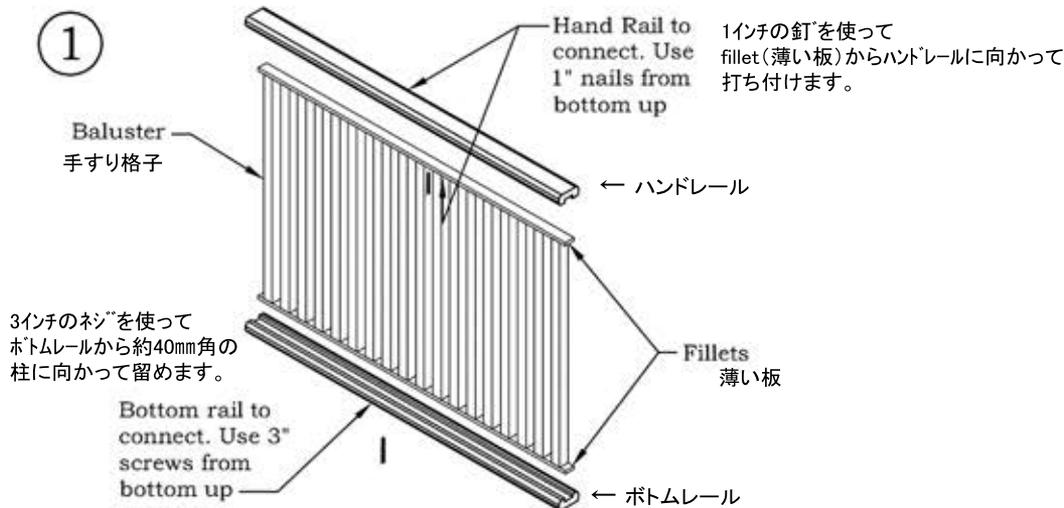


FIGURE S12

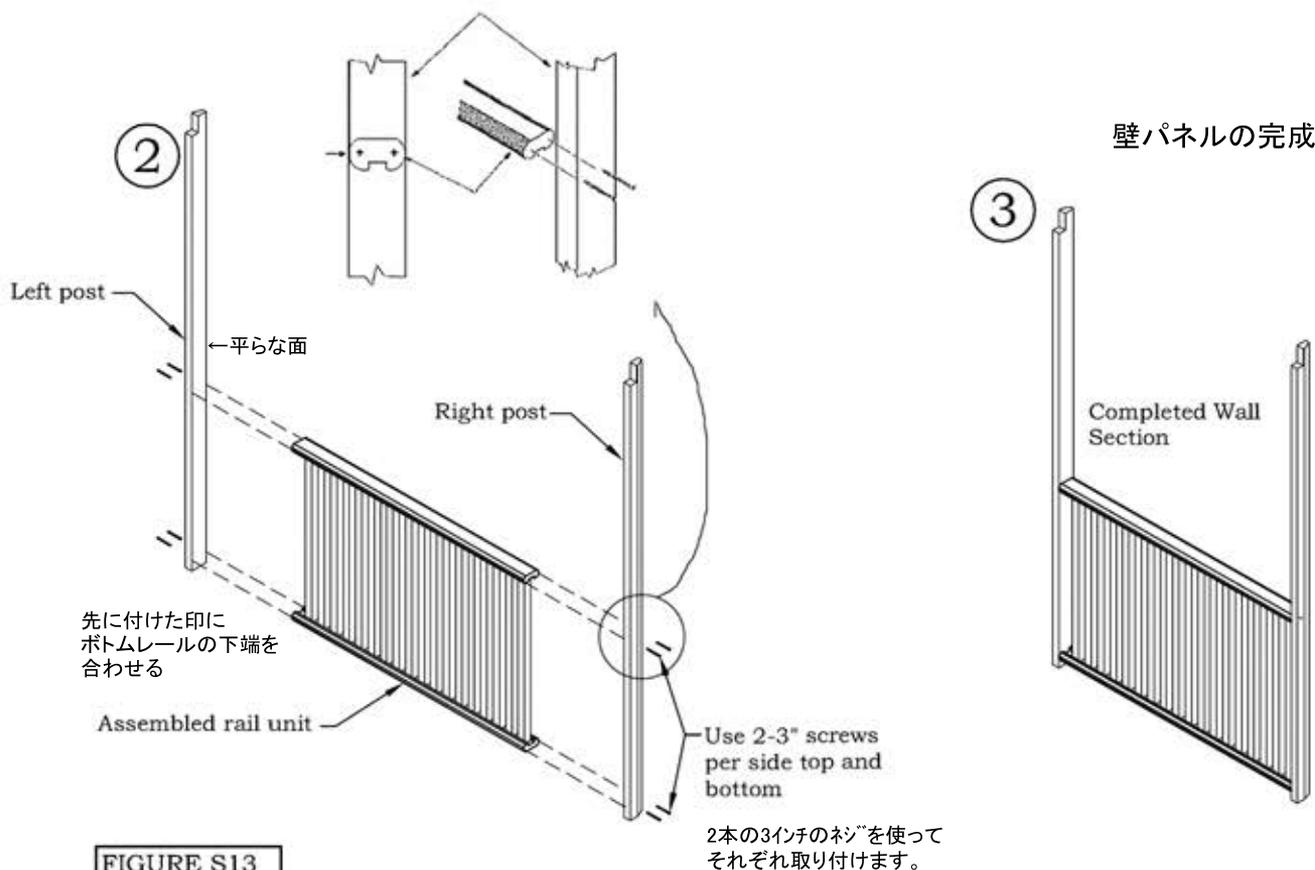


FIGURE S13

壁パネルをデッキに固定

壁パネルの取り付けは、出入口に隣接する壁から始めていきます。
 ポスト上部の切り込みを外側に向け、出入口に隣接するデッキの上に置きます。そしてデッキのつなぎ目ラインにポストの角度が付いた面が合うように位置を合わせます。 図W1参照

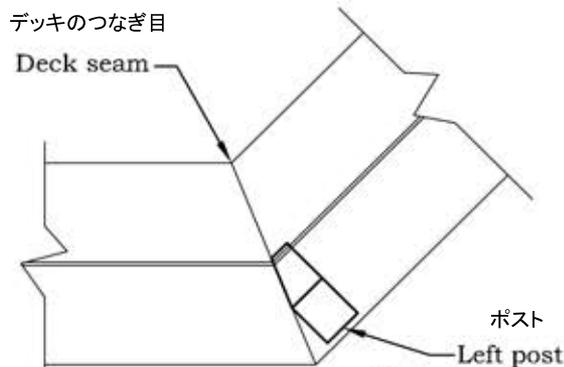
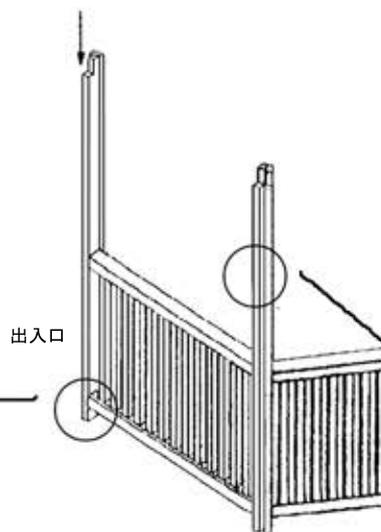


FIGURE W1

この段階ではまだデッキに対しては留めませんが、作業しにくい場合は、P14を参考に仮留めてしても良いでしょう。

切り込みは外側に向ける



壁同士を接合していきます。

2つ目の壁パネルを取り出し、1つ目と同じように向きに注意してデッキの上に置いたら、3インチ(76mm)ネジを約10本使って、ポスト同士を接合します。

強度を高めるために必ず両側から交互にネジ留めしてください。また外側から見て、左右ポストに出来たV(ブイ)溝にネジが出てこないよう心部に角度を付けて打ち込んで下さい。 図W2参照

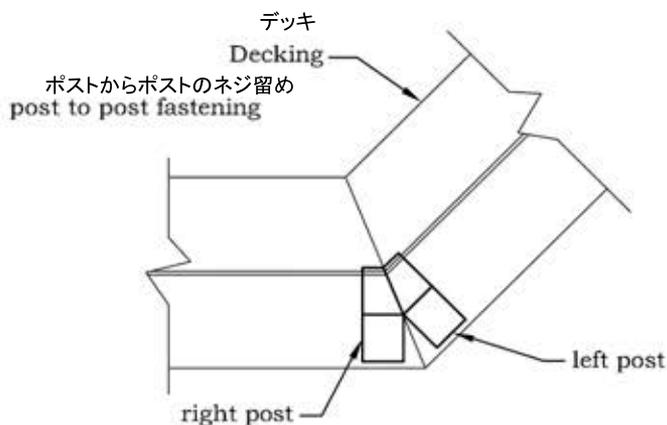
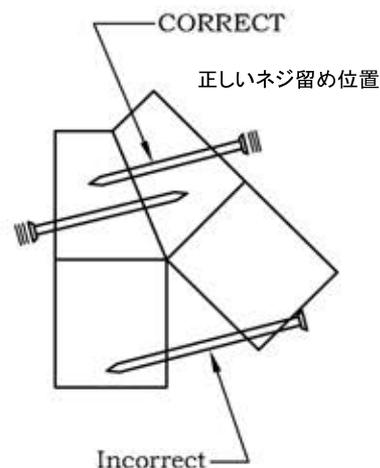


FIGURE W2



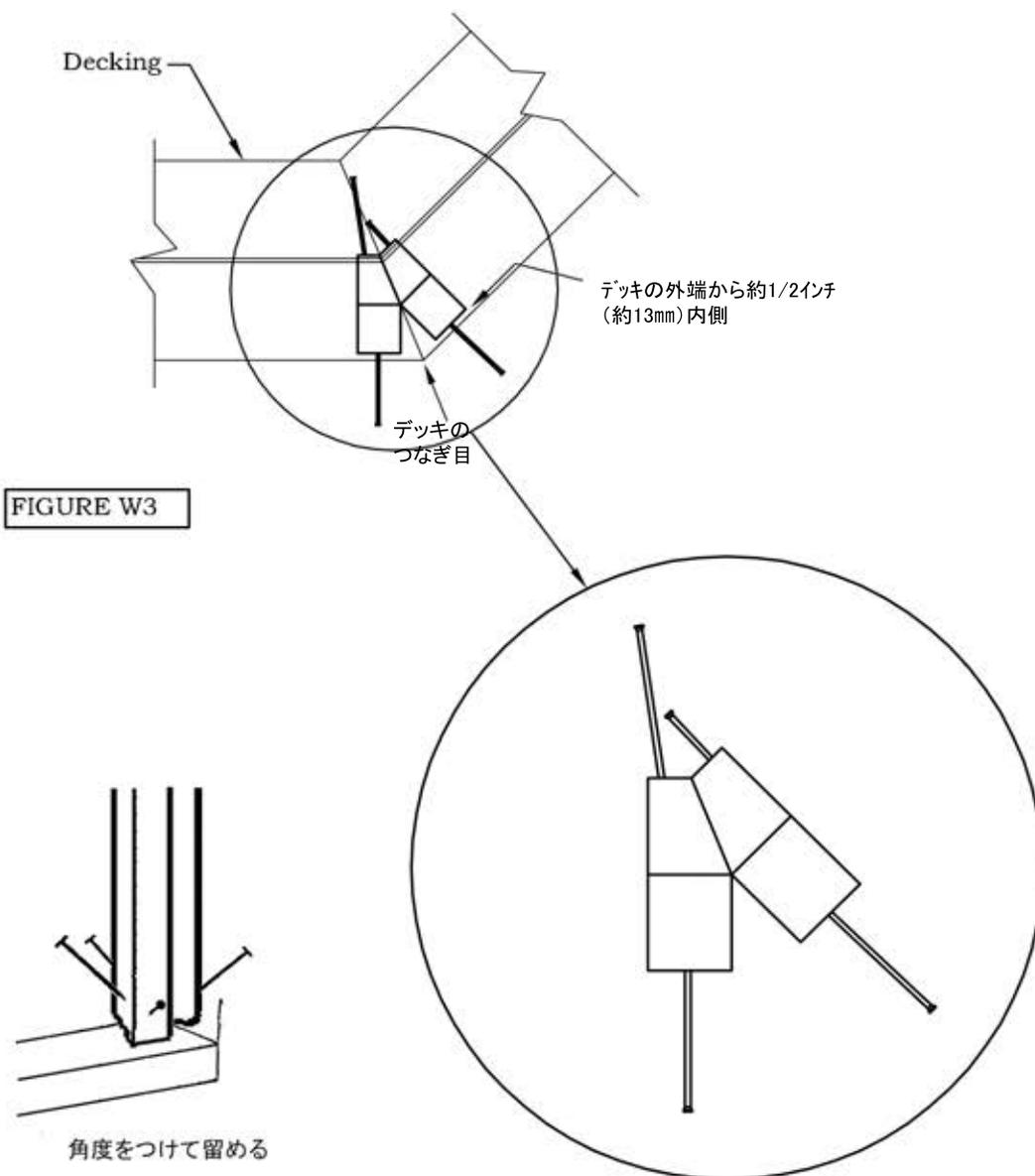
間違ったネジ留め(V溝にネジが出ないように)

続けて残りの壁パネルも同じように接合していき、壁同士をすべて接合したら、最後にとっておいた2本の左右ポストを出入り口に3インチ(76mm)ネジを使って取り付けます。

※出入り口の2本は、次の工程の後(デッキに固定後)に取り付けても構いません。

接合した壁パネルをデッキに固定します

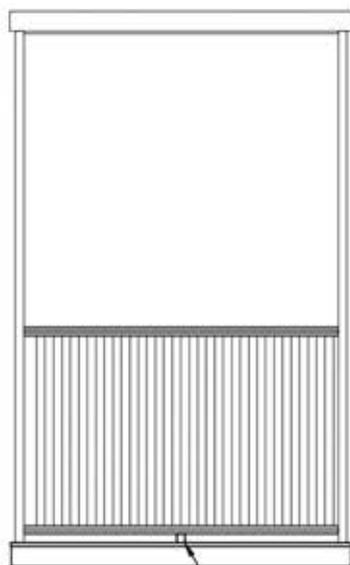
連なった壁パネルが、デッキの外端から約1/2インチ(約13mm)内側に入ったところに置かれるよう、位置を調整します。そして壁パネル同士の接合部がデッキのつなぎ目ラインに合っていることを確認し、全体のバランスも整っていたら、3インチ(76mm)ネジを使って、壁パネルをデッキに対して留めていきます。ネジは、45° くらいの角度をつけて斜め留めします。あらかじめ1/8インチ(約3mm)ほどの下穴をあけておくと割れを防ぎ留めやすくなるでしょう。 図W3参照



レール補強ブロックを取り付けます。

壁パネル下の中央にレール補強ブロックを置き、3インチ(76mm)ネジを2本使ってボトムレールからブロックに向かって固定します。補強ブロックを取り付けることによって壁パネルがより安定したものになります。図W4参照

FIGURE W4



Rail support block レール補強ブロック

ポスト上部にヘッダー(上枠)を取り付けていきます。

出入口からはじめます。両端が斜めにカットされている、2x4材のヘッダー2本を取り出し、出入口とその隣接するポスト上部の切り込みにのせます。そして3インチ(76mm)ネジを2本使ってヘッダー同士を接合します。

続けて残りのヘッダーもポスト上部にのせ、ヘッダー同士を接合していきます。図W5参照
はじめの2本は、地上で少しネジを打ち込んでからポスト上部で本締めしても良いです。

ヘッダー同士をすべて接合したら、ポストに対しても3インチ(76mm)ネジを2本使って角度を付けて留めしっかり固定します。図W5参照

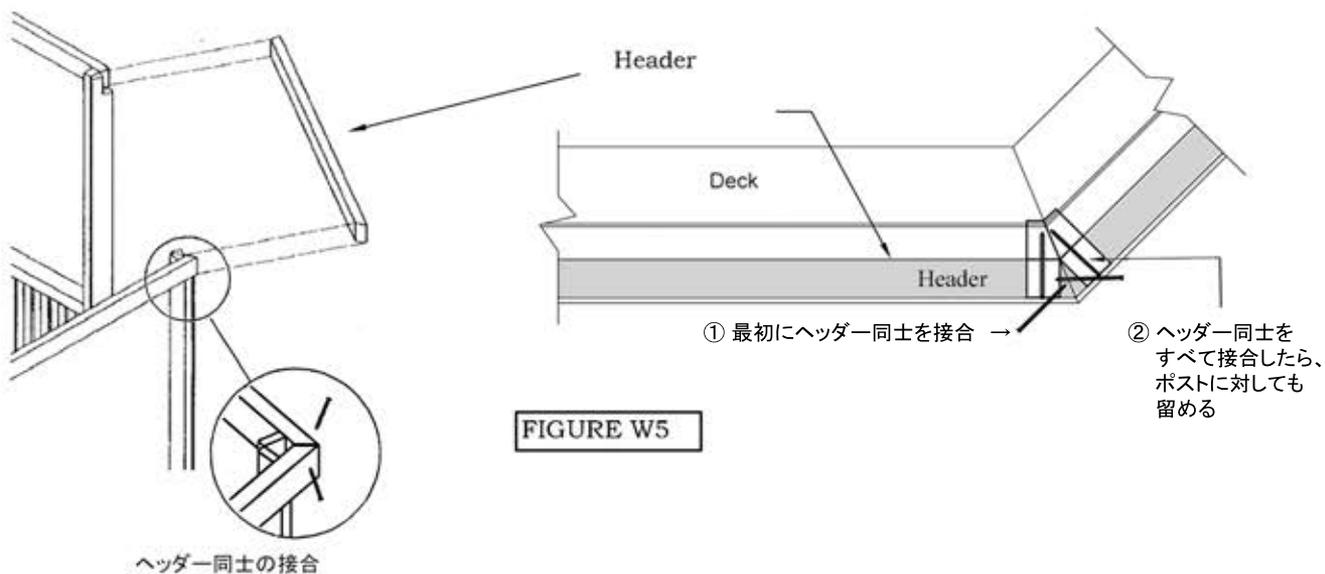


FIGURE W5

- ・ 上部の格子を取り付けます。
1x2材(薄い方の板)が付いている側を上に向けてヘッダー(上枠)に対して2本の2インチ(50mm)で取り付けます。ポストに対しては、2本の3インチ(76mm)ネジを使って留めます。図W6参照
- ・ コーナーブラケットを取り付けます。
すべての上部格子を取り付けたら、3インチ(76mm)ネジを使ってコーナーブラケットを取り付けます。図W6参照
割れを防ぐためにあらかじめ3mm程度の下穴を空けておくことをお奨めします。
またネジ留めする前に水平器を使ってポストとヘッダー(上枠)が直角になっているかを確認してください。
ポストが垂直に立っていない場合は、コーナーブラケットをネジ留めする際にヘルパーにポストを押しもらい垂直になったところで留めてください。
- ・ ポスト用の化粧材を取り付けます。
2インチ(50mm)仕上げ釘を使ってポストとポストに出来たV(ブイ)溝を覆うように打ち付けます。図W7参照

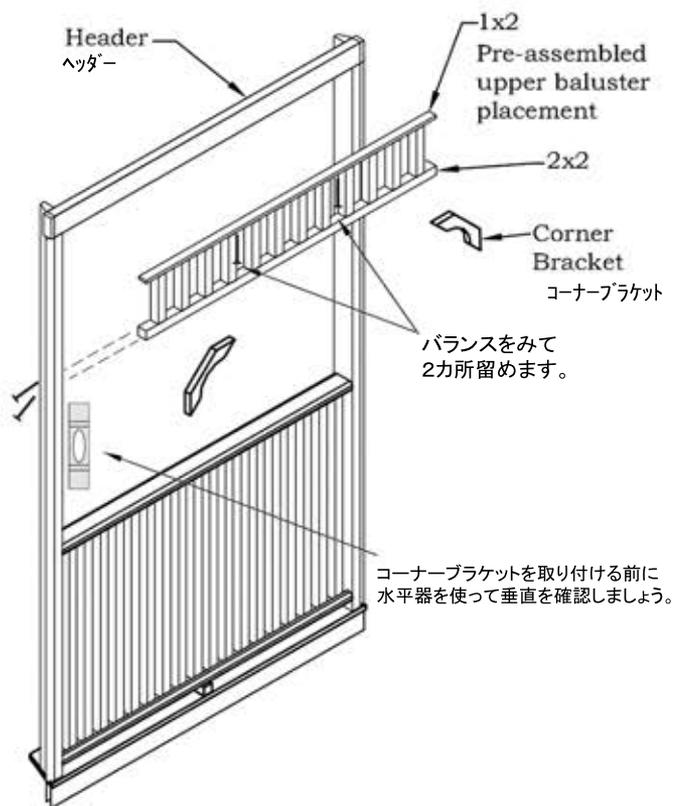


FIGURE W6

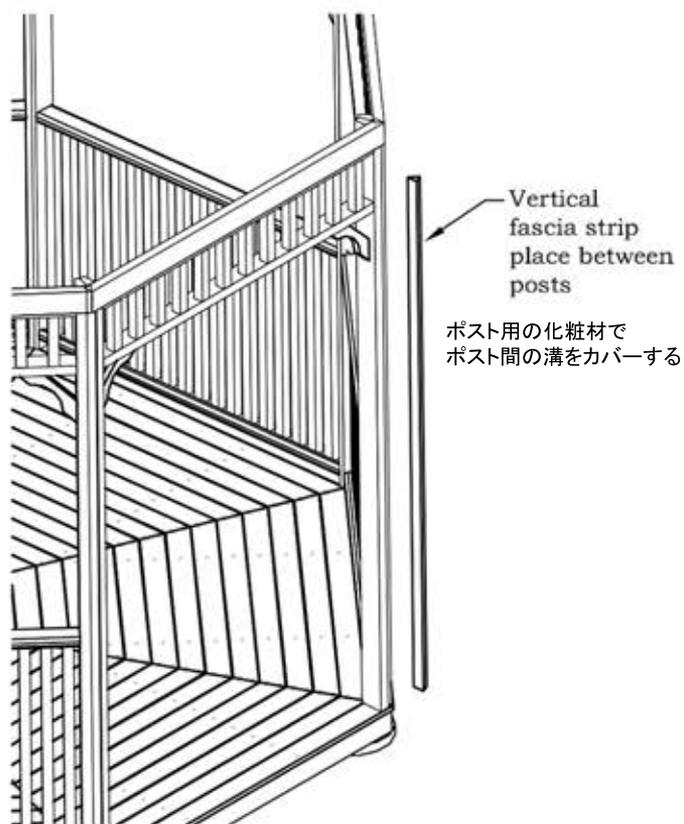
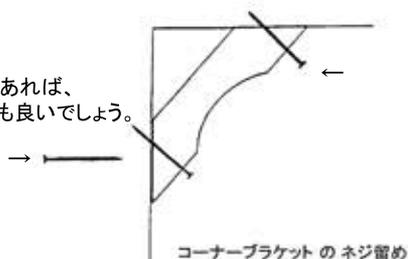


FIGURE W7

ネジ留めが気になるようであれば、
1本はポスト側から留めても良いでしょう。

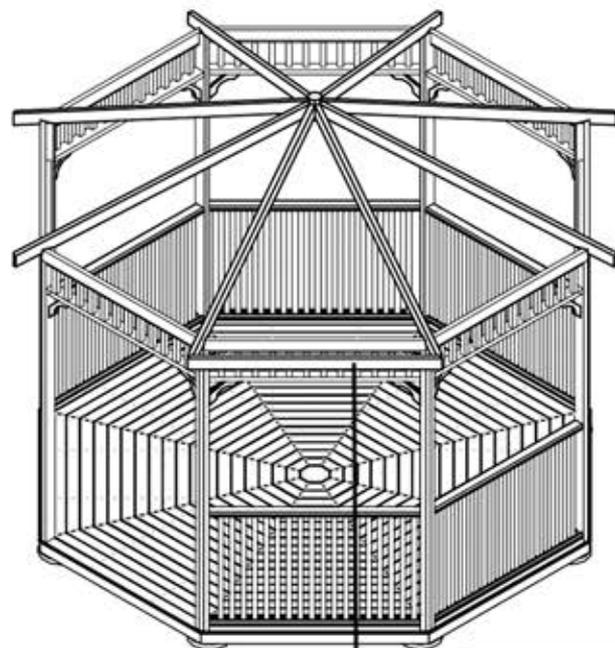
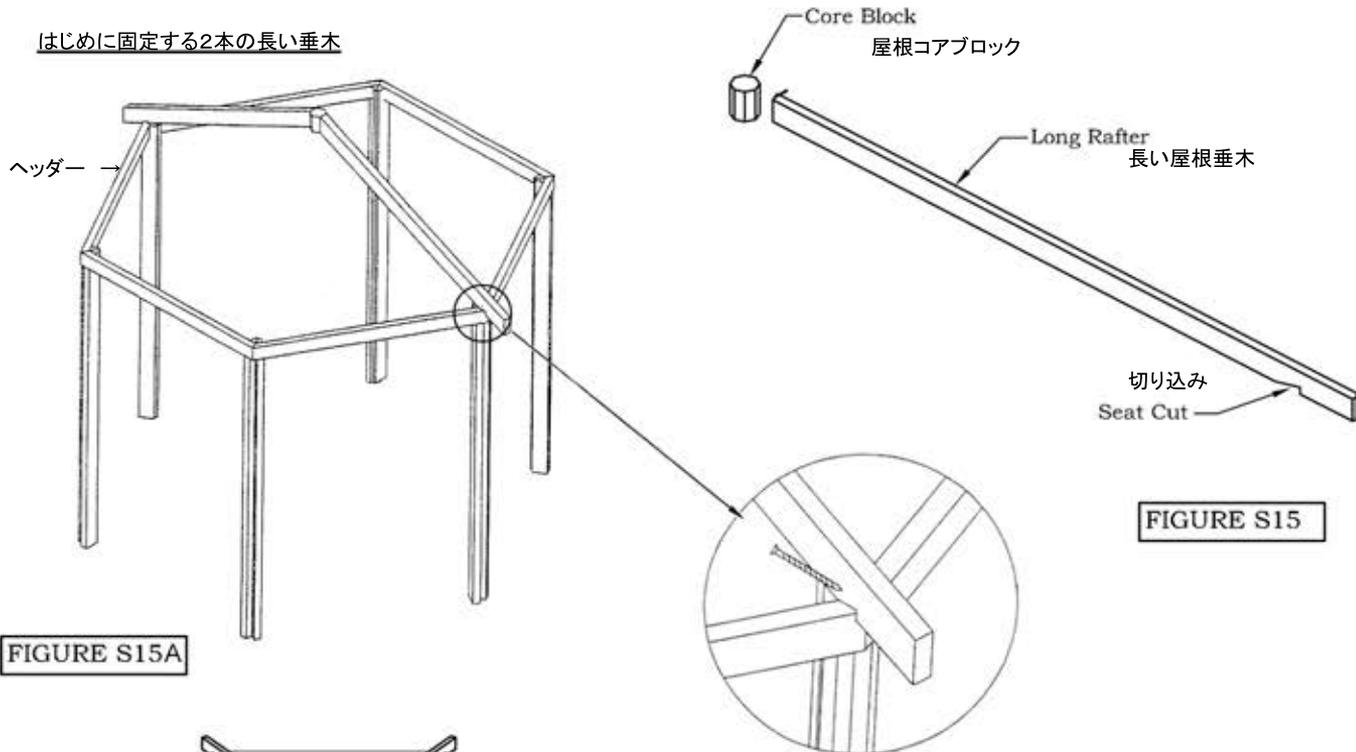


コーナーブラケットのネジ留め

屋根の組み立て

屋根の組み立ては、ヘルパーと脚立(1,800mm〜)が必要です。

長い屋根垂木をヘッダー(上枠)へ取り付けっていきます。
 まず地上で、長い垂木1本と屋根コアブロック(六角形または八角形)を組み立てます。
 垂木は切り込みがある側を下に向け、1本の3インチ(76mm)ネジを使って角度を付けて留めます。
 あらかじめ下穴を空けておくと留めやすいでしょう。 図S15参照



長い垂木をヘッダー(上枠)に固定します。

1人がガゼボ中心に脚立を置いて上がり、屋根コアブロック付きの垂木を壁パネル上部へ乗せ、壁パネル同士の継ぎ目に切り込みが合うように乗せ支えます。もうひとりはその合わせた箇所を3インチ(76mm)ネジを使って角度を付けて留めます。割れを防ぐためにあらかじめ下穴を空けておくと良いでしょう。 図S15A参照

次に対角の垂木を同じように取り付け安定させたら、残りの垂木も同様に取り付けます。屋根垂木は、六角形の場合は6本、八角形の場合は8本あります。

図S15A、B参照

後のステップ(p19 鼻隠しの取り付け)で、長い垂木の位置の調整が必要になってくるかもしれないので、ネジ留めは仮留め程度にしたり、あらかじめ、fascia(鼻隠し)を長い垂木に当て、取り付け位置を確認しながら長い垂木を留めたほうが良いかもしれません。

短い屋根垂木を取り付けます。

短い垂木の取り付け位置は、一時的に取り付けたfascia(鼻隠し)によって決められます。まず短い屋根垂木を取り出し切り込みを下に向けたら、ヘッダー(上枠)に切り込みが合うようにのせます。短い垂木の反対側は斜めにカットされているので、その面を長い屋根垂木にぴったり合わたら、2本の3インチ(76mm)ネジで角度をつけて留めます。図S16参照

※短い垂木とヘッダー(上枠)の固定は次ページで行います。

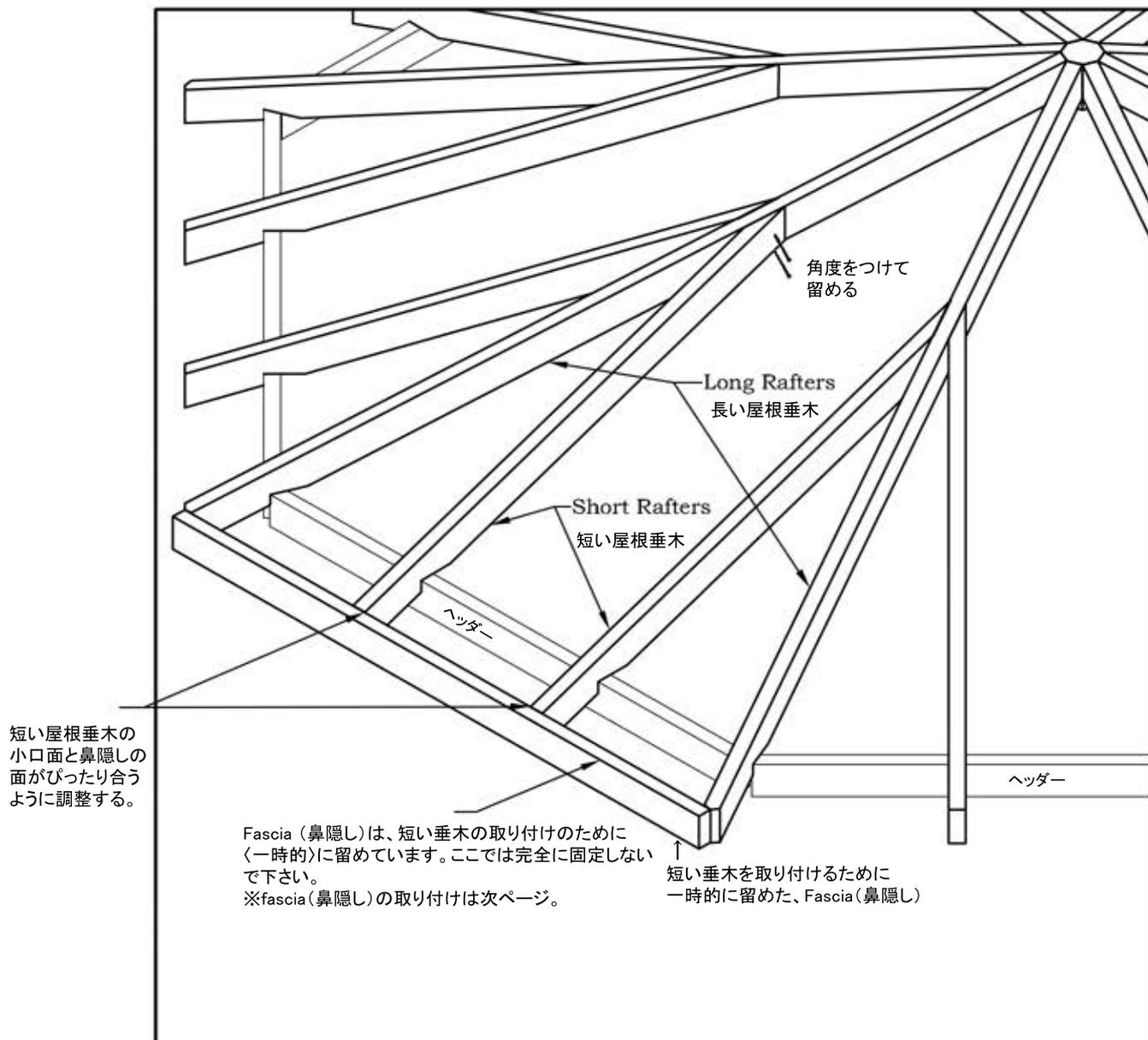


FIGURE S16

鼻隠し(fascia)の取り付け

- すべての垂木(Long & Short)をヘッダー(上枠)へ完全に固定する前に、鼻隠し(fascia)を取り付けます。
- 鼻隠しは、長い垂木～長い垂木の間を渡すように取り付けていきます。鼻隠しの両端は長い垂木の角度に合うように斜面カットされているので、ヘルパーにその片側を持ってもらったら、反対側を斜面に合わせてぴったり合わせ、2本の50mm仕上げ釘を使って長い垂木に対して留めます。
斜面同士がぴったり合わない場合は、長い垂木の位置を調整します。同様に残りの鼻隠しも長い垂木に取り付けます。
- 鼻隠しを長い垂木にすべて取り付けたら、短い垂木と鼻隠しも2本の50mm仕上げ釘を使って留めます。
- 鼻隠しがすべての屋根垂木へ取り付けられたら、短い垂木とヘッダー(上枠)も完全に固定します。
3インチ(76mm)ネジを使って角度をつけて留めてください。

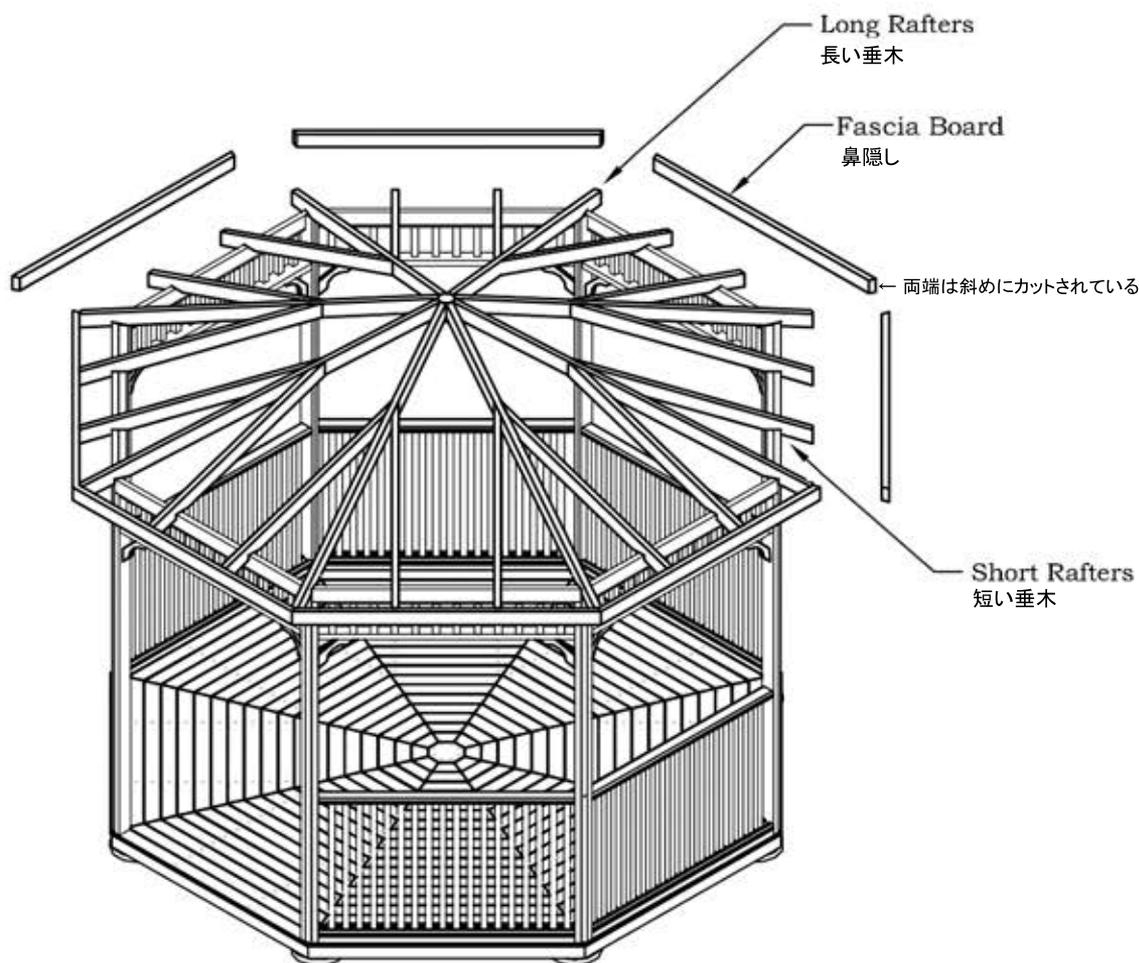


FIGURE S18

オプション 二段屋根

TWO TIER ROOF ASSEMBLY OPTION

- The TWO TIER Rafter section will be assembled at this point. Toenail the Long Core Block the one of the Two Tier Rafter sections making sure that the Core Block is flush with the top of the Top Rafter. See Figure S19.

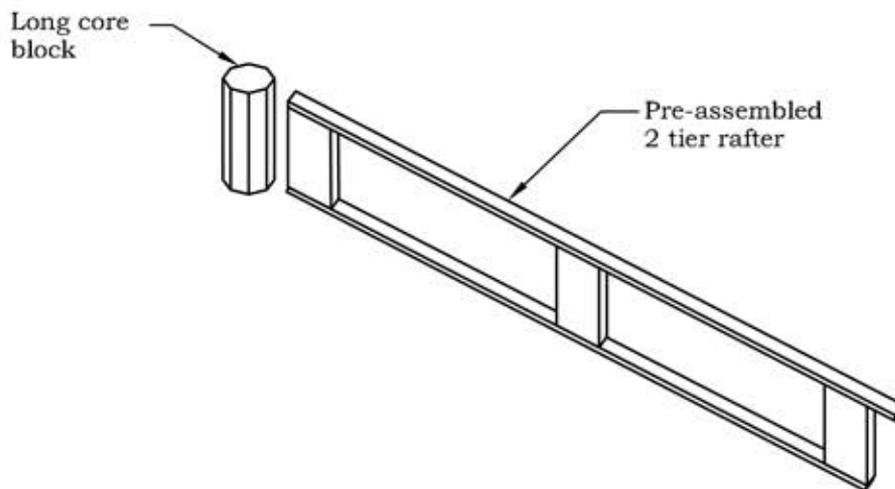


FIGURE S19

- Using your stepladder attach the Two Tier Rafter section on the Long Rafter by screwing right through the Bottom Rafter onto the Long Rafter. Use three 3" screws for this step. Take the remaining 5 Two Tier Rafter sections and systematically attach each to a Long Roof Rafter and the Long Core Block. The Long core block will sit directly over the top of the Short Core Block. See Figure S20.

Mounting the Face Rails:

- Insert the Face Rails from above so that each Face Rail is Flush with the front of the Two Tier Rafter Supports. Using two 2" screws attach each Rail Support Post to the Two Tier Rafter Supports. See Figure S20 for details. Also, insert a screw through the Long Support Post into the Long Rafter.

オプション 二段屋根

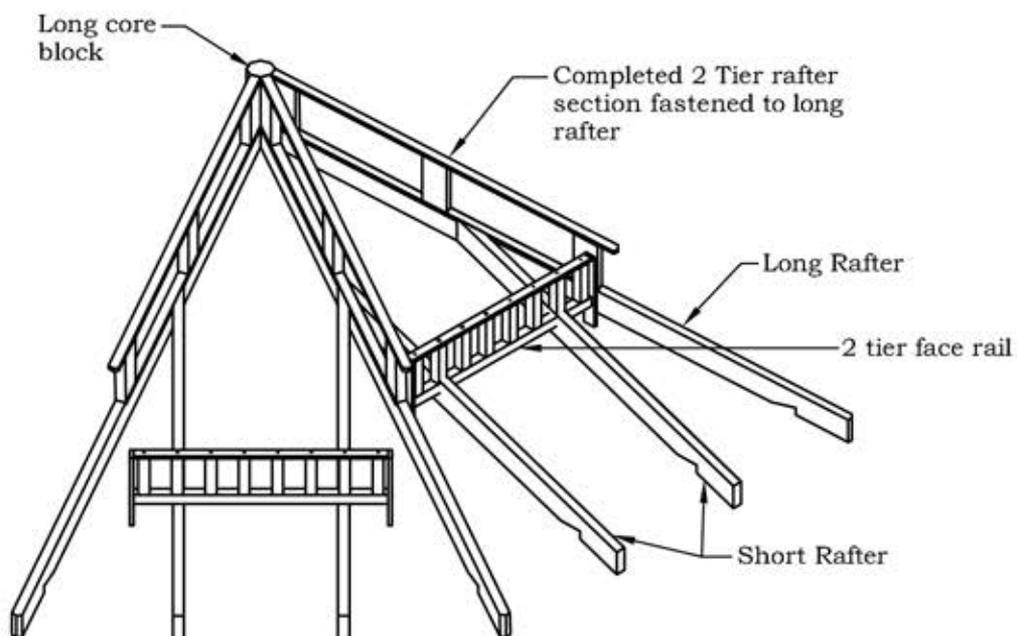


FIGURE S20

- Figure S21 illustrates the completed Two Tier roof assembly.

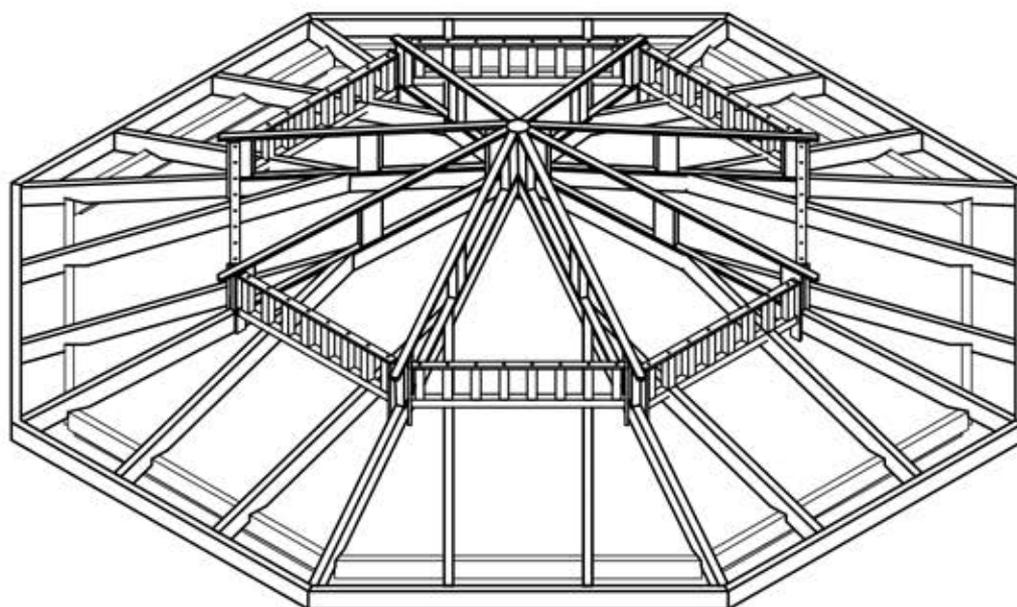
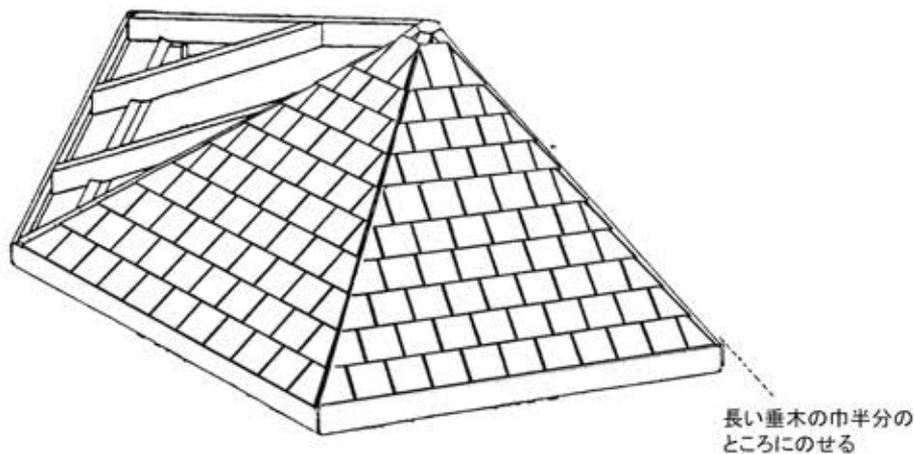


FIGURE S21

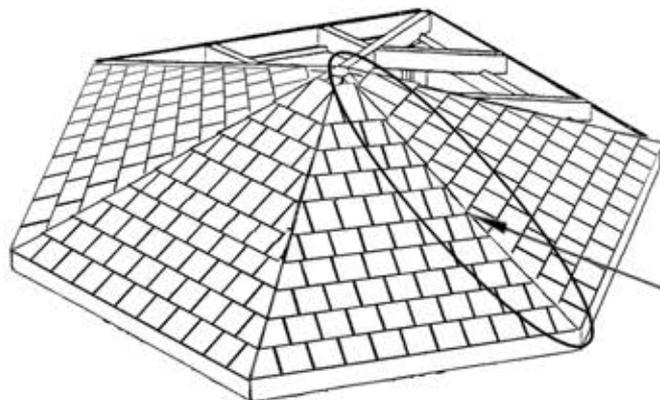
屋根の組み立て

屋根パネルを取り付けます。
屋根パネルをヘルパーと一緒に持ち上げ垂木の上に置き、長い屋根垂木の巾半分に屋根パネルがかかるように位置を調整し取り付けしていきます。図S22参照

FIGURE S22



ガゼボの室内側から屋根パネルを垂木に固定していきます。
3インチ(76mm)ネジを使って、屋根パネル裏に通っている約18mmの板から長い垂木に向かって角度をつけて留めます。1枚のパネルに8本のネジを使って、すべての屋根パネルを固定します。



【NOTE】
ロール状の黒い屋根フェルト(ルーフィングフェルト)が同梱されている場合は、屋根のつなぎ目が覆われるまで広げ、長さを調整しカットしたら、1インチ(約25mm)釘で留めます。すべての屋根つなぎ目に取り付けます。



屋根フェルト

FIGURE S23

オプション ベンチ

※オプションのベンチを購入していない場合は、24ページへ進んで下さい。

- ベンチシートに脚を取り付けます。図S24参照
6角形ガゼボなら1～5set、8角形ガゼボなら1～7set(購入した数によって異なります)。
- 組み立てたベンチをガゼボに固定します。ベンチシート背面側の切り込みをポストに合わせ位置を調整したら、75mmのネジを使って縦格子からベンチシートに向かって4カ所留め、床のデッキに対しても留めます。図S25参照

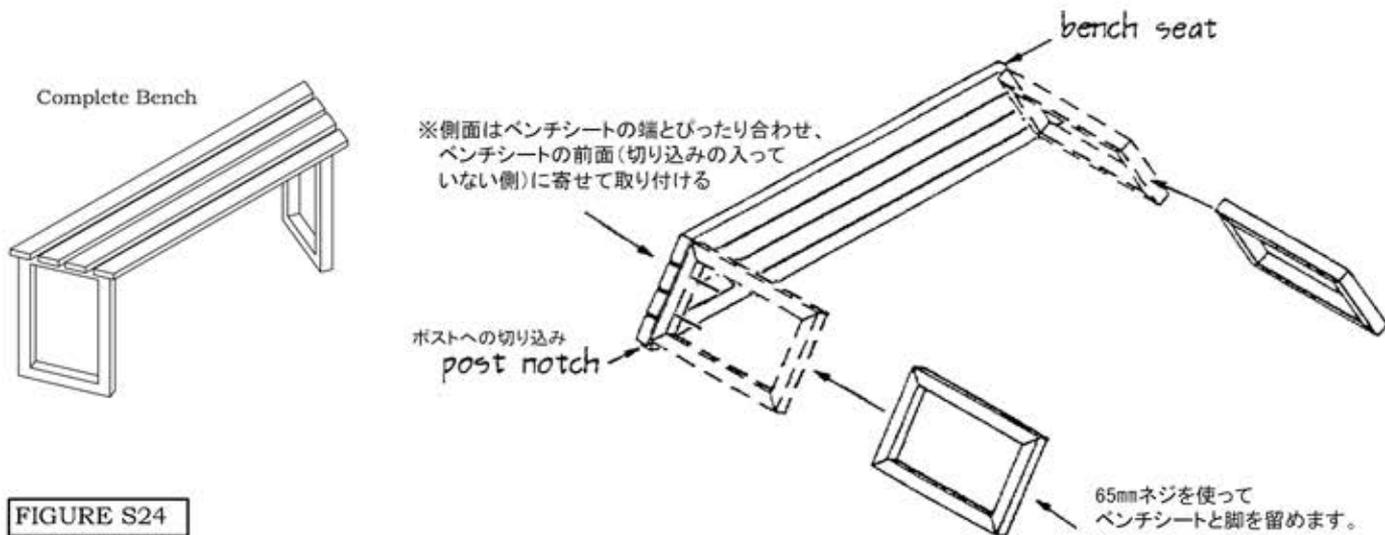
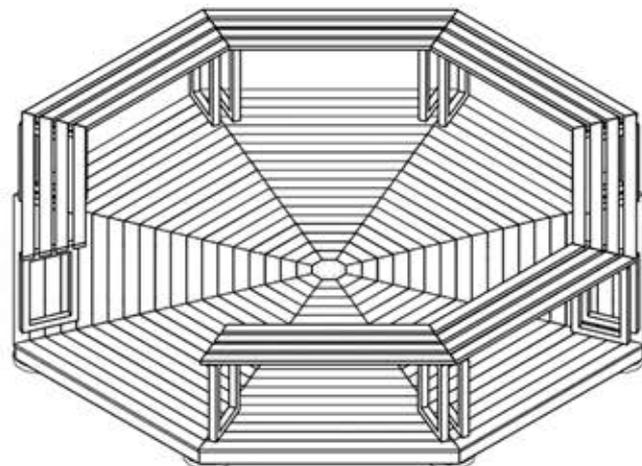
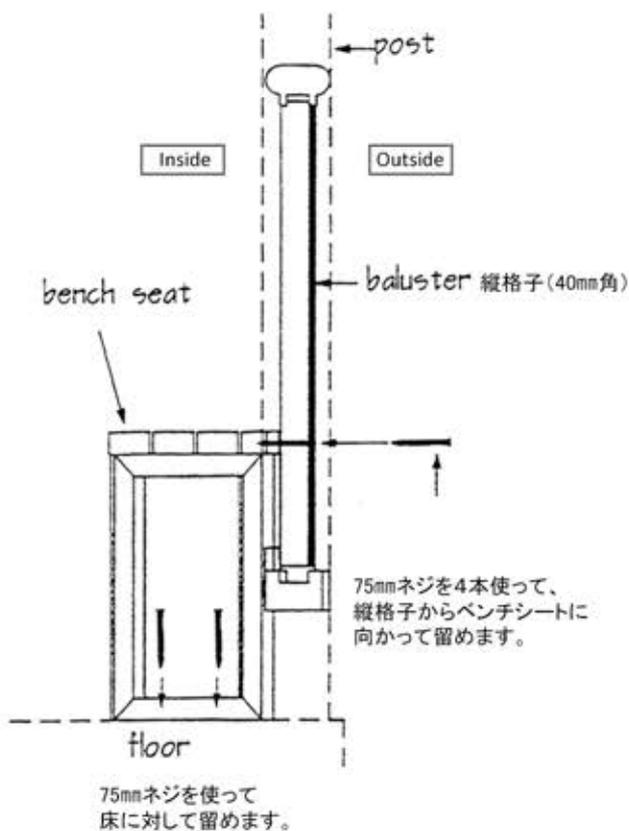


FIGURE S24



イラストは8角形

FIGURE S25

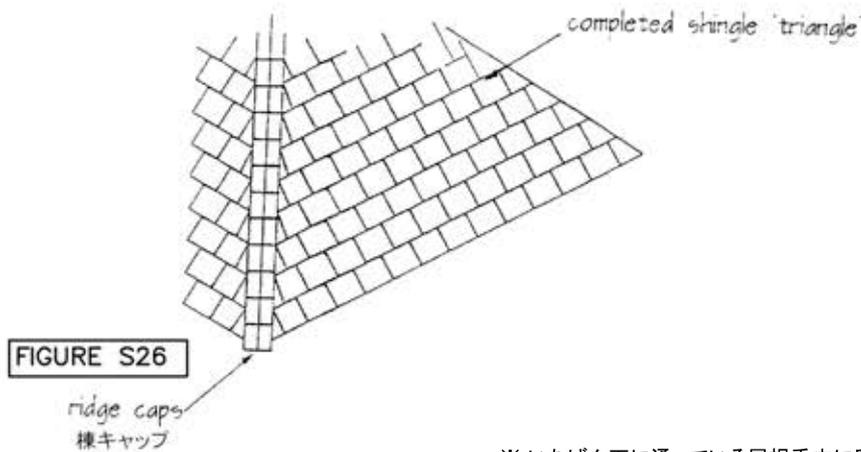
棟キャップの取り付け

- ・ 屋根パネルをすべて取り付けたら、屋根パネル同士のつなぎ目を覆うように棟キャップを張っていきます。棟キャップは下から頂上に向かって取り付けっていきます。まず最初の棟キャップを屋根パネルの下端から約12mmせり出すように置き、2インチ(50mm)の屋根用釘2本を使って打ち付けます。図S26A参照
※屋根パネルを通してその下の垂木に対しても留まるようにするために2本の釘は離れすぎないようになるべく内側に留めてください。
- ・ 次に重ねる棟キャップは、最初に取り付けた棟キャップの下端よりさらに6mmほどせり出して置き、下端から約216mmのところに釘で打ち付けます。図S26A、S27参照
- ・ 3段目以降は、前段の棟キャップ下端から約190mm離して置き、釘は重ねた棟キャップの下端から約216mmのところに打ち付けます。図S27参照
- ・ 続けて頂上付近まで進めていきます。最後の1~2枚は長さを調整するためにカットする必要があるかもしれません。

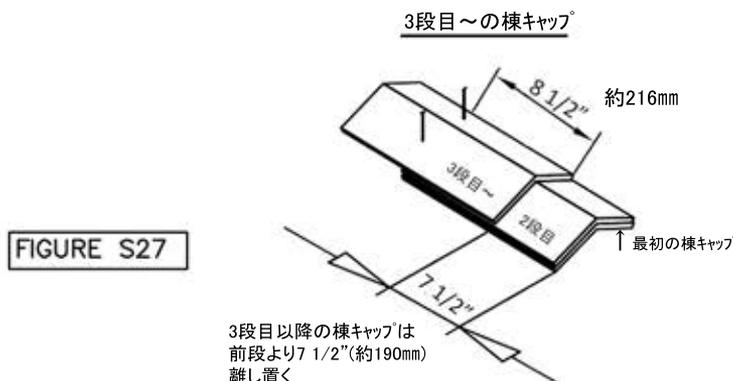
オプションのキューポラを購入されていない場合は、→p26の組み立て完成へ

◎オプションのキューポラを購入した場合;

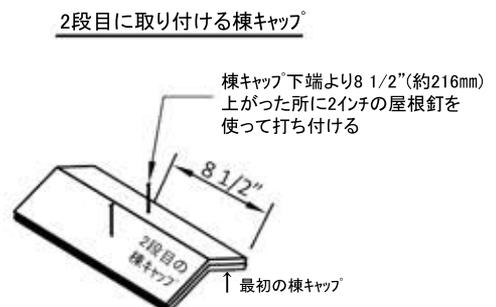
棟キャップの取り付けが頂上の30cmほど手前まできたら、組み立てたキューポラをのせ、屋根に取り付けます。→組み立てと取り付けはp25



※ いちばん下に通っている屋根垂木に留まるよう
2本の釘の間はなるべく離さず、内側に向かって角度を付けて
打ち付けると良いでしょう。



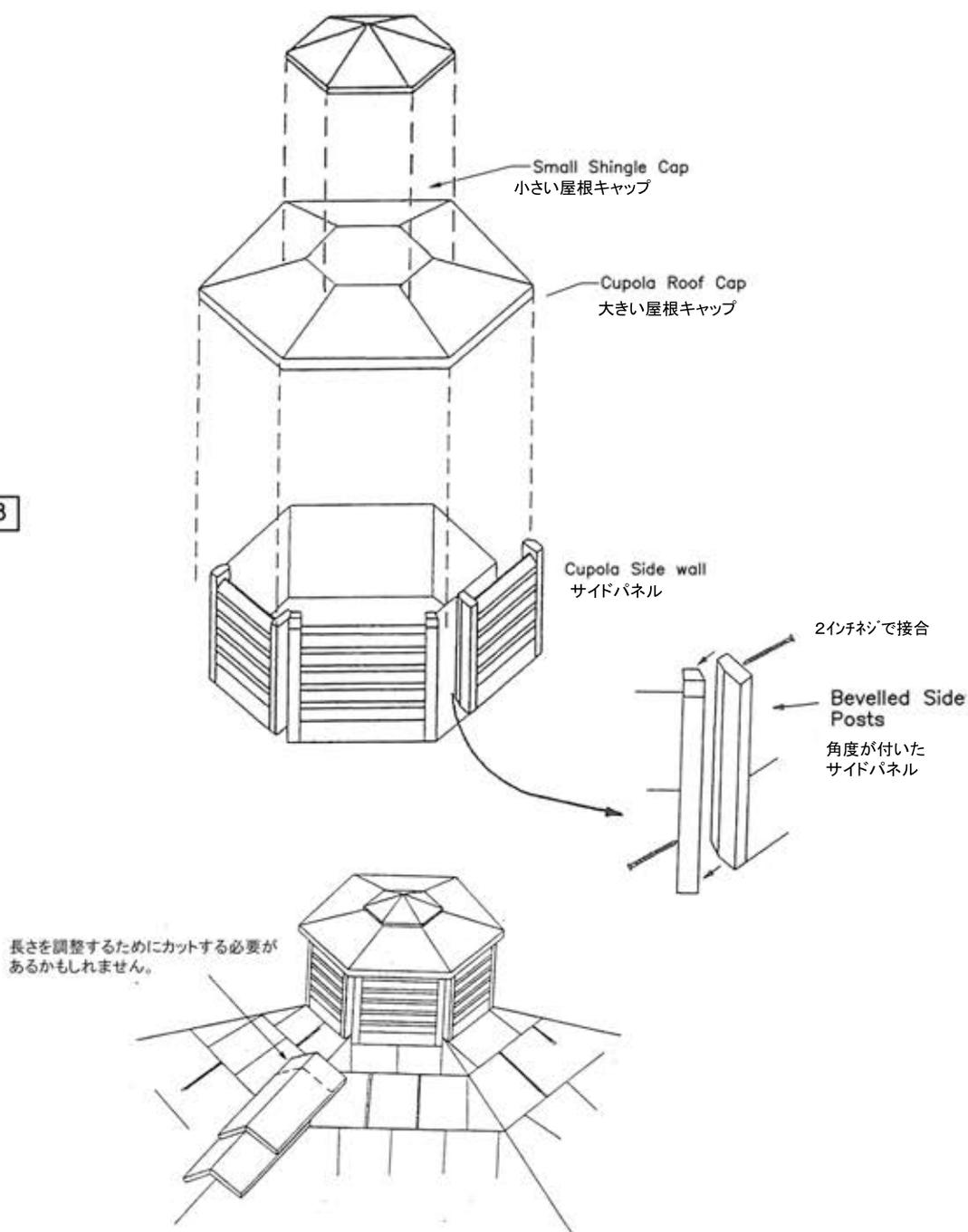
3段目以降の棟キャップは
前段より7 1/2"(約190mm)
離し置く



オプション キューポラ

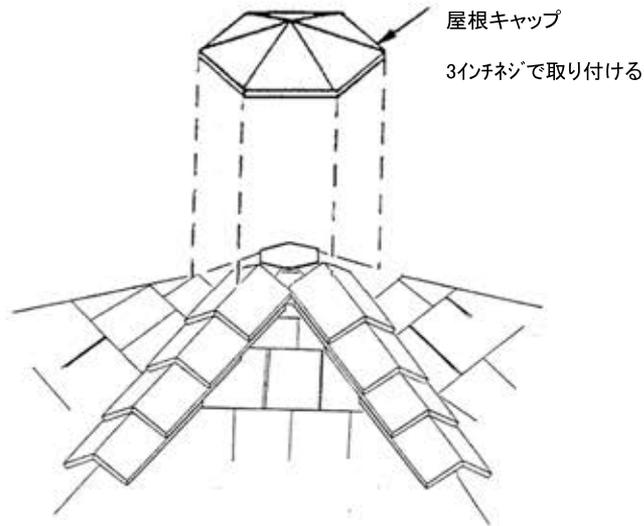
- ・ サイドパネルの角度のついた面同士を2インチ(50mm)ネジ2本使ってそれぞれ接合します。
6面または8面、すべてが接合されたら大きいキャップを頭にのせ水平にします。
そして3インチ(76mm)ネジを3本使って大きいキャップからサイドパネルに対して固定します。
- ・ 小さいキャップを2インチ(50mm)ネジを2~3本使って取り付けます。
- ・ 組み上がったキューポラを屋根に取り付けます。キューポラのサイドパネルの継ぎ目と屋根パネルの継ぎ目のラインを合わせ、3インチ(76mm)ネジを使って屋根パネルに対して固定します。
キューポラの底部は屋根にフィットするように角度がついています。
- ・ 最後に、前ページで途中まで取り付けした棟キャップを仕上げます。
キューポラにぴったり合うよう重ねる部分を調整しますが、うまく調整できない場合は最後の1~2枚をカットして調整します。

FIGURE S28



屋根キャップの取り付け

オプションのキューポラを購入されていない場合は、最後に屋根の頂点に屋根キャップを取り付けます。
棟キャップの上に水平になるように置いたら、3インチ(76mm)ネジを3本使って留めます。



これで完成です。
組み立てを楽しみながら作業を行って頂けたでしょうか。
お好みの色で塗装し、ガゼボ製品のご使用を永くお楽しみください。

ご不明点等ありましたら販売店までご連絡下さい。

